

シクリスムエコーNo.87 2002年6月号

7th TOUR OF JAPAN	2	2002ロード・トラック・ランキング	14
日本新記録	5	大会日程等変更のお知らせ	15
第71回全日本アマチュア選手権大会	6	競技大会結果	16
第22回アジア選手権・第9回ジュニアアジア選手権	8	JCFニュース	19
トラック・ワールドカップ第3戦	11	国外各大会日本代表選手団	20
アンチドーピングのための質問用紙	11	連盟の動き	20
第49回全日本プロ選手権自転車競技大会	12	編集後記	20



7th TOUR OF JAPAN

2つのステージで日本人優勝!!

飯島 誠 大阪ステージ無念の3位(手前)



第7回ツアー・オブ・ジャパンが、5月19日から26日までの6ステージにわたって熱戦が繰り広げられた。

第1戦<5月19日> 大阪ステージ
1周12.80km×11周=140.80km

飯島、間髪で勝利を逃す! ホールダイクがステージV

午前中に降り続いた雨も正午のスタート時には上がり、やわらかな日射しが降り注ぐ中、16チーム、合計92選手がスタート。1周目に地元シマノの山本雅道が単独で飛び出すなど、海外からの強豪チームに臆することなく日本選手も積極的な走りを展開。また3周回ごとに合計3度設定されたスプリントポイントのうち、2回目で水谷壮宏(ブリヂストン)が1着通過、3回目も飯島誠(ラバネロ)が1着通過するなど、例年以上に日本勢の健闘が目立った。

平たんなコースだけに、勝負は大集団によるゴールスプリントに持ち込まれ、ヤン・ホールダイク(オランダ、アクサ)が先行した飯島をかわして大会初

優勝を飾った。飯島の3位は大阪ステージの日本人最高位。

最後の数キロはポジション争いもシビアでかなり厳しかった。飯島が残り400mで抜け出したが、チームメイトがいたのでボクを連れていってくれると思った。ボクはスプリンターで、今日のステージはボクが勝てるようにチームが動いてくれたんだ。明日から? ボクは山岳コースが苦手なので総合トップを守るうとは考えていない。(ステージ優勝、個人総合時間1位、ポイント賞1位のホールダイク)
ラスト400mのコーナーがキーポイントだと思ったので、それまでに好位置をキープしてゴール勝負に持ち込もうと思った。できれば先頭から3番目くらいでコーナーを回りたいかったが、先頭になってしまったのでそこから一気にスパートした。悔しいけど、3位でゴールできて安心した。大阪ステージは、区間優勝と同時に総合トップのジャージも取れるので、積極的にねらっていた。優勝と3位はあとひとふんばりの差なんですけど、それが

大きな差なんです。(日本勢1位、ステージ3位の飯島)

第2戦<5月20日> 奈良ステージ
25.00km+10.10km×12周=146.20km

スケアリンクス、難コースを制す! 鈴木はまたも4位

午前9時に16チーム、合計92選手が開眼1250年を迎えた世界遺産・東大寺大仏殿前をスタート。総合トップの称号であるグリーンジャージを着るのは、前日の大阪で優勝したホールダイク。レースは奈良市街から布目ダムの周回コースに突入し、残り30kmからベルト・スケアリンクス(ベルギー、RDM)と昨年の総合優勝者パベル・ニエツビエツキ(ポーランド、ムロズ)が2人で抜け出した。最後はスプリント勝負でスケアリンクスが競り勝ってガッツポーズ。総合トップだったホールダイクは大きく遅れ、リーダージャージはニエツビエツキの手に渡った。日本勢では、シマノの鈴木真理が前日の大阪に続いてステージ4位に食い込んだ。



奈良ステージで逃げる
スケアリンクス(右)とニエツビエツキ

昨年の成績を調べたら、ムロズチームがいい結果を残していたので、彼らをマークしていた。中でも総合優勝したニエツビエツキがアタックしたので、これに反応して2人で逃げるようになった。奈良ステージのような起伏のあるコースは得意だが、勝因はプロとしての意識を持って走ったこと。幼い頃から自転車が大好きで、プロになるのが夢だった。サッカーもやったけど素質がなかった。今は自転車に集中しているので、サッカーのワールドカップ「日本対ベルギー」でどっちが勝つかなんて分からないよ。(ステージ優勝、個人総合1位のスケアリンクス)
前日の大阪が地元だったので、逃げ切ってやろうと走り過ぎて、その日の夜は足が痛くて眠れなかった。今日もチームメートがボクのために走ってくれたが、優勝できなくて残念。総合

成績でも遅れてしまったが、次の修善寺で逆転できるように走りたい。奈良のコースは厳しい上りもあって難しいが、公道を走れるのでやっぱり楽しい。(日本勢最高のステージ4位、鈴木真理)

第3戦<5月22日> 修善寺ステージ
1周8.00km×15周=120.00km

クリミアンコV

総合トップはスケアリンクスに!

16チーム、合計85選手がスタートし、日本サイクルスポーツセンター120kmの過酷な山岳レースに挑んだ。序盤で敢然と飛び出したのがアレクサンダー・クリミアンコ(ポーランド・ムロズ)ら7選手。日本勢は鈴木真理と狩野智也のシマノ勢、行成秀人(ミヤタ)、広瀬敏(日本舗道)が加わり、残り56kmほどで福島晋一(ブリヂストン)も追いつ

いた。しかし終盤でクリミアンコとシモーネ・モーリ(イタリア、ジュラスイス)がスパートし、追撃を振り切って2人のゴール勝負へ。クリミアンコがスプリントを制してステージ優勝。後続の大集団からはスケアリンクスが追い上げて13秒遅れの6位でゴール。首位に躍り出た。

日本勢はスケアリンクスとともにトップを追撃した真鍋和幸(ミヤタ)が31秒遅れの7位に入った。

チームメートが徐々に脱落して、今日も自分で先頭を追うことになった。逃げた選手は総合成績でボクよりも1分遅れていたから、それ以上の差が開かないように頑張る必要があった。総合トップに立てたので、あとは宇都宮の山岳コースで頑張るだけだ。チームメートが守ってくれるから茂木と東京は問題ないね。(個人総合1位のスケアリンクス)

スタート前のチーム戦略は、総合トップのニエツビエツキを守ることだった。ボクは体調がよかったので、チャンスが巡ってきたらねらっていると考えていた。でもコースが予想以上に厳しく、最後はイメージどおりのスプリントにはならなかった。もっとカッコよくフィニッシュしたかったんだけどね。(ステージ優勝、山岳賞1位のクリミアンコ)

実はレース前、実況の南昌宏さんが「昨年までのラップタイムは実業団レースのものと同程度変わらない」と教えてくれた。だから気持ちで負けなければ頑張れると思って走った。昨年4月に交通事故に巻き込まれ、前回は車いすに乗って観戦していた。東海大学のメディカルスタッフにお世話になってようやく復活することができた。事故をきっかけに食事やペダリングスキルなどを気にかけるようになり、成長できたのがうれしい。(ステージ7位の真鍋)

第4戦<5月24日> 茂木ステージ
1周12.38km×12周=148.56km

ドイツのガンゼールが ゴール勝負を制す!

16チーム、合計84選手がスタートし、ツインリンクもてぎの高速コースに挑んだ。レースは残り50kmでブリヂストン・アンカーの渋谷淳一が豪州選手と



修善寺ステージ1・2位のクリミアンコ(左)とモーリ
最終的に個人総合も1・2位

2人で果敢に飛び出し、一時1分以上の大差を後続集団につけた。2人は残り6kmほどで吸収され、最後は大集団によるスプリント勝負をコムネットのシュテファン・ガンゼール(ドイツ)が制した。日本勢はラバネロの飯島誠の6位が最高。

今日はチームメートのクッペンスが持っているスプリント賞ジャージーを守るのが最優先。チャンスがあったらステージ勝利をねらっていこうと思っていた。残り2kmになったところでチームメートから「前に行ってラストチャンスをねらえ」と指示されたので残り200mでスパートした。国際レースでは初勝利で、勝ったときは夢のようだった。いつもは兄のマルクスがエースだけど、この大会ではエースナンバーをもらった。残り2日もクッペンスのジャージーを守れるように走りた。(ステージ優勝のガンゼール)

大会が始まったときからチームでステージ優勝を勝ち取ろうと目標を立てていた。今日はたまたまボクにチャンスが巡ってきたので逃げ切ってやろうと思った。1分以上離れたときは行けると思ったのに。ボクが捕まっ、チームメートの水谷がいい位置でスプリント勝負に挑んだが、落車があっ、勝負させてもらえなかった。この世界は勝たないと何もならない。惜しいというのは通じないんです。(約45kmを逃げた渋谷)

遠征がちだけど、家に帰れば妻の美和が食事に気を遣ってくれ、ボクは練習に集中さえしていればいい。昔よりもパワーが出るようになったと思う。以前、美和が見ている前で大きな怪我をしてしまい、無事にゴールして心配かけないようにしている。残り2ステージは、宇都宮でチャンスがあったら勝ちたいし、地元東京では毎年のように「見せるレース」をするだけでなく、成績が残せるレースがしたい。(ステージ6位の飯島)

第5戦<5月25日> 宇都宮ステージ
1周10.30km×15周=154.50km

福島、最難関の宇都宮を制す!
日本勢6年ぶりの勝利

16チーム、合計79選手がスタートし、最後の勝負どころである山岳コースに挑んだ。レースはスタート直後からブ



宇都宮ステージ、福島を含む先頭集団

リチストン・アンカーの渋谷淳一が果敢に飛び出し、これに福島ら数選手が反応し、10人の第一集団を形成。徐々に選手が脱落し、残り20kmでは福島を含む3選手に絞り込まれた。福島は2人のプロ選手に臆することなく激走し、ラスト150mからスパート。待望のステージVを勝ち取った。日本勢のステージ勝利は、第1回で今中大介が記録して以来6年ぶり2回目。スケアリンクスが大きく遅れたため、シモーネ・モーリが総合1位に躍り出た。

スタート前から勝つつもりだった。一緒に逃げた2人とは修善寺でトップグループを形成しながらボクだけが置いていかれたので、今度は脱落しないようにした。あとは持久戦。フランスで5年走ってレースの駆け引きを覚えたので、この2人には勝てるなと思ったけど、2人が結託しそうな感じだったので、「ここはボクの地元なんだから勝たせてくれ」とお願いしようかと思った。残り150mで先行して50mで勝ったなど両手を挙げた。最後

に逆転されないかちょっと不安だった。(ステージ優勝の福島)

ツアー・オブ・ジャパンは厳しい山岳レースだと聞いていて、はじめはチームメートのアッセルマンのアシストとして走るつもりだった。彼が前ステージでリタイアしてしまい、宇都宮ではチームメートがボクのアシストに回ってくれて感謝している。このリーダー・ジャージーは妻と事故で他界したかつてのチームメートに捧げたい。(総合優勝に王手のモーリ)

第6戦<5月26日> 東京ステージ
18.60km+1周10.50km×13周=155.10km

鈴木真理、最終日東京を制す!
総合Vはクリミアンコ

大会のフィナーレを飾る最終ステージは16チーム、合計79選手がスタートし、最後の高速コースに挑んだ。スタート直後から昨年の覇者パベル・ニエツピエツキ、広瀬敏(日本舗道)、内山靖樹(ミヤタ)がアタック。100km以上を逃げ続け、大歓声を浴びた。終盤になって

6秒遅れの総合2位クリミアンコや鈴木真理ら十数人の逃げが決まり、鈴木が得意のゴールスプリントで初優勝。前日の宇都宮ステージを制した福島晋一(ブリヂストン)に続く日本勢2勝目をあげた。総合優勝争いでは、シモーネ・モーリ(イタリア、チームジュラスイス)がムロズチームの波状攻撃にたまたまず先頭集団から脱落して32秒遅れでゴール。鈴木と同タイムでゴールしたアレクサンダー・クリミアンコ(ウクライナ、ムロズ)が最終日での逆転劇を演じた。

2日目のゴール後に事故で負傷してしまったが、思ったより走れた。後遺症はガッツポーズで手が挙げられなかったくらいかな。前日優勝した福島晋一はかつてのチームメートで友達だけに、悔しかった。でも今日はボクが勝って日本人バンザイという感じ。遠征が多く、今年になって家族と50日くらいしか一緒に過ごしていない。ゴール後に「お疲れさま」と言われたのはテレました。(ステージ優勝の鈴木)

総合成績で6秒遅れだったので、逆転優勝をねらっていた。チームメートが序盤から逆転のチャンスを作ってくれた。日本選手はいい選手が多く、びっくりしている。(総合優勝のクリミアンコ) (TOJニュース抜粋)

[競技結果]

第1ステージ(大阪) 140.80 km

1	ヤン・ホルグ・イク	AXA	2:57:09
2	スティーブン・ストラレン	RDM	2:57:09
3	飯島 誠	RVN	2:57:09
4	鈴木 真理	SMN	2:57:09
5	シュテファン・ガンゼー	COM	2:57:09
6	山本 雅道	SMN	2:57:09
7	チャルコ・クパンス	COM	2:57:09
8	マクス・ムル	MRO	2:57:09
9	マキシム・イグリン	KAZ	2:57:09
10	ジーン・ベイ	AUS	2:57:09

第2ステージ(奈良) 146.20 km

1	バルト・スクリンクス	RDM	3:49:40
2	バル・ニエツィ	MRO	3:49:40
3	ワカボ	HKG	3:50:34

4	鈴木 真理	SMN	3:50:35
5	ホルム・ビゼ	COM	3:50:36
6	福島 晋一	BSA	3:50:38
7	水谷 壮宏	BSA	3:50:38
8	岡崎 和也	NHD	3:50:38
9	リアン・ルディ	TJS	3:50:39
10	マルカ・ガゼル	COM	3:50:42

第3ステージ(修善寺) 120.00 km

1	アレクサンダー・クリミアンコ	MRO	3:29:56
2	シモーネ・モーリ	TJS	3:29:59
3	ワカボ	HKG	3:30:06
4	マキシム・イグリン	KAZ	3:30:06
5	リアン・ルディ	TJS	3:30:07
6	バルト・スクリンクス	RDM	3:30:09
7	真鍋 和幸	MYT	3:30:27
8	ガラット・バグディノ	OEO	3:30:52
9	ルツェルク・ユルツェック	COM	3:30:57
10	鈴木 真理	SMN	3:30:57

第4ステージ(茂木) 148.56 km

1	シュテファン・ガンゼー	COM	3:31:10
2	マクス・ムル	MRO	3:31:10
3	マルセル・リュッパ	AXA	3:31:10
4	ジーン・ベイ	AUS	3:31:10
5	アッサン・バザイ	KAZ	3:31:10
6	飯島 誠	RVN	3:31:10
7	マキシム・イグリン	KAZ	3:31:10
8	ホルム・ビゼ	COM	3:31:10
9	ダビッド・シャツ	TJS	3:31:10
10	バルト・スクリンクス	RDM	3:31:10

第5ステージ(宇都宮) 154.50 km

1	福島 晋一	BSA	4:12:04
2	シモーネ・モーリ	TJS	4:12:04
3	アレクサンダー・クリミアンコ	MRO	4:12:04
4	カズ・メッシュ・スクリンクス	MRO	4:12:56
5	バル・ニエツィ	OEO	4:13:03
6	スコット・ヒース	AUS	4:13:13
7	ホルム・ビゼ	COM	4:13:32
8	鈴木 真理	SMN	4:13:38
9	真鍋 和幸	MYT	4:13:38
10	今西 尚志	SMN	4:13:38

第6ステージ(東京) 155.10 km

1	鈴木 真理	SMN	3:30:24
2	マキシム・イグリン	KAZ	3:30:24
3	飯島 誠	RVN	3:30:24
4	ピープ・ミクリ	AXA	3:30:24
5	アレクサンダー・クリミアンコ	MRO	3:30:24
6	バルト・スクリンクス	RDM	3:30:24
7	行成 秀人	MYT	3:30:24
8	新保 光起	AIS	3:30:24
9	バル・ニエツィ	OEO	3:30:26
10	バル・ズガイ	MRO	3:30:28

個人総合時間順位

1	アレクサンダー・クリミアンコ	MRO	21:31:36
---	----------------	-----	----------

2	シモーネ・モーリ	TJS	21:32:02
3	バルト・スクリンクス	RDM	21:32:10
4	マキシム・イグリン	KAZ	21:33:05
5	福島 晋一	BSA	21:33:08
6	ワカボ	HKG	21:33:33
7	鈴木 真理	SMN	21:33:43
8	カズ・メッシュ・スクリンクス	MRO	21:34:06
9	バル・ニエツィ	OEO	21:34:18
10	スコット・ヒース	AUS	21:34:27

個人総合ポイント賞

1	アレクサンダー・クリミアンコ	MRO	9p
2	鈴木 真理	SMN	9p
3	シモーネ・モーリ	TJS	8p
4	シュテファン・ガンゼー	COM	6p
5	マキシム・イグリン	KAZ	6p
6	ワカボ	HKG	6p

個人総合山岳賞

1	アレクサンダー・クリミアンコ	MRO	19p
2	カズ・メッシュ・スクリンクス	MRO	12p
3	バル・ニエツィ	MRO	11p
4	シモーネ・モーリ	TJS	10p
5	バルト・スクリンクス	RDM	5p
6	鈴木 真理	SMN	5p

個人総合スプリント賞

1	チャルコ・クパンス	COM	17p
2	バル・ニエツィ	MRO	10p
3	バル・ニエツィ	OEO	6p
4	飯島 誠	RVN	5p
5	水谷 壮宏	BSA	5p
6	渋谷 淳一	BSA	5p

団体総合時間賞

1	ムル	64:38:46
2	シムル・シカ	64:48:49
3	チームジュラス	64:49:33
4	カザフスタンナショナルチーム	64:52:28
5	チームコムネット・ゼンガス	64:55:25
6	オーストラリアナショナルチーム	65:02:36



日本新記録

200mフライングスタート

男子シニア 10秒369 永井 清史 (WCC)

2002/6/1

ロシア・モスクワ

第71回全日本アマチュア自転車競技選手権大会



今年度の全日本アマチュア自転車競技選手権大会は、5月18日と19日の2日間、埼玉県大宮双輪場で開催された。

全日本アマチュア選手権大会は、アマチュアのトラックレースでは国内最高峰の大会であり、昭和6年に第1回開催が行われて以来、今年で71回を数える歴史ある大会です。私自身、審判長として執務したのですが、その中で感じたことを海外での審判経験を踏まえて、少し辛口に書かせて頂きました。

まず、事前の準備ですが、アマチュアの国内最高峰のトラックレースであるにもかかわらず、レーススケジュールや特別規則の原案が私の手元に送られてきたのが大会の始まる2日前、慌てて特別規則等を確認し、問題点を修正して完成したのが大会の前日という非常に慌しい状況でした。海外の大会の場合、少なくとも30日前までには、審判長の手元に大会の概要、スケジュール、特別規則の原案が送られてくるもので、その点については、今大会は、主催者側も少し準備不足であったのではないかと思います。審判に関する機材の準備については、過不足無く、特に審判の判定に、「競輪」で使用しているセンタービデオ及びクイック再生装置が使用できたことは、昨今の高速化しているレースをジャッジしていくうえで、非常に助かりました。

また、大会を実施するにあたり、主催者側に無理にお願いして、当初予定を幾つか変更させていただきました。まず、大会前日に、予定には入っていなかった監督会議を実施してもらうことにしました。なぜ、その様なお願いをしたかということ、監督会議は、その大会を成功させるために、非常に重要な役割を持っているからです。まず、第一にその大会をどのように運営していくのか、また、どのような判定を行っていくのか、監督に周知することで、参加選手全員に共通の理解と認識で大会に臨んでもらい、無用なトラブルを回避し、大

会をスムーズに進行させる。第二に、主催者や審判サイドの都合等により、競技規則の一部を変更する場合、変更する部分を特別規則の中に明示しますが、本来、競技規則どおり実施しなければならないものを、主催者又は審判サイドの都合で変更するわけですから、選手側の意見も確認し

たうえで、主催者、審判及び選手の三者が合意したものでなければなりません。この三者の合意があって初めてその特別規則は有効になります。その合意を確認する場が監督会議となるわけで、従って、監督会議は必ず実施する必要があります。

次に、選手の招集方法を、世界で行われている方式に変更してもらいました。どの様な方式かという、召集場所を、スタートライン近くのトラック内側に設置し、選手は、本人が出走するレースのスタート5分前までにスタートライン近くの召集場所に集合し、そこでユニホームと自転車のチェックを受けるという方式です。自転車のチェックを受けた後、その自転車は当該レースが終了するまで、審判の監視下におかれ、自転車を直す、或いは修正する場合は、審判の立会いが必要になります。過去らいより行われていた第1次召集、第2次召集という日本独特の召集方法は、選手自身が出走するレースのかなり前に2度もそれぞれ別の召集場所に来なければならず、このため選手に与える負担が大きいこと。召集担当の審判も第1次召集と第2次召集とそれぞれ必要となり、非効率的であること。また、出走予定時刻のかなり前に召集されるため、審判員が自転車のチェックを行ったのち、出走までの間に選手が自転車をかってに修正できてしまうので、自転車のチェックを行った意味が無くなってしまふことなど、いろいろと問題がありました。この方式にしてからは、その様な問題も無く、選手の評判も上々でした。

最後に、タイムトライアル系でのスタート時の自転車の設置位置についてです。タッチテープを使用する場合、1kmや500mTT、個人追い抜きや、チームスプリントなどでは、前輪の接地面が、スタートラインの約2cm後方になるように自転車を設置することは、皆さんもご存知のことと思います。しかしながら、団体追い抜き競走では、前輪

前端をスタートラインに合わせている場合が多いと思います。しかしながら、一昨年、イギリスのマンチェスターで行われたトラック世界選手権に私が執務した際、団体追い抜き競走においても、他のタイムトライアル系競技同様、前輪の接地面をスタートラインの2cm後方にセットしていました。その点について確認したところ、この世界選手権の直前にどちらのスタート位置が良いのかUCIとイギリス自転車競技連盟においてかなり議論があったそうです。その結果、他のタイムトライアル系の競技と同様に、前輪の接地面をスタートラインの2cm後方にセットすることに決まったそうです。その後も、ワールドカップ等の大会に何度か執務しましたが、どの大会でも接地面を2cm後方にセットする方式が採用されています。今年の競技規則は、途中の半周毎のタイムは、先頭走者の前輪で計時することになっているので、昨年同様、電子計時で計時する場合は、前輪の接地面をスタートラインの2cm後方にセットする方式で行われると思います。ただし、ゴール時のタイムは3番目の選手で計時することになりますので、3番目の走者の前輪接地面がゴールラインを通過するときにグリッスイッチを押して計時することになります。今年もワールドカップに執務するので、再度確認し、皆さんにご報告する機会があったら報告したいと思えます。話が逸れてしまいましたが、実は、今回の大会で、このスタート位置の問題で若干のトラブルがありました。どちらの方式を採用するにせよ、監督会議で、どちらの方式を採用するのか、はっきりと審判並びに選手に周知しておくことをお勧めします。

最後になりましたが、主催者でありました日本自転車競技連盟の方々並びに主管でありました埼玉県自転車競技連盟の方々には、直前にスケジュールの変更など、無理なお願いをしたにもかかわらず、即座に対応していただきありがとうございました。特に埼玉県自転車競技連盟の方々には、準備にいろいろとご苦労されたと伺っております。紙面を借りてお礼申し上げます。

横田 恭 ｺｺﾀ ｺﾝ

UCI国際Aコミッセル

JCF国内コミッセル1級・競技運営委員会委員

トラック世界選、ワールドカップ等、数々の国際大会で活躍。本年はトラック・ワールドカップ第5戦のコミッセル、ジャパンカップ(宇都宮)のチーフコミッセルとしてUCIより指名されている。

(横田 恭)

[競技結果]

男子1km タイムトライアル



- 1 在本 直樹 岡山 青少年SC 1:08.388
- 2 篠原 忍 群馬 中央大学 1:08.797
- 3 橋本 強 愛媛 松山聖陵高 1:09.462
- 4 竹沢 浩司 富山 日本大学 1:09.750
- 5 福井 敬司 鳥取 倉吉工高教 1:09.771
- 6 臼井 昌巨 岐阜 岐南工業高 1:10.311

男子スプリント



- 1 北津留 翼 福岡 豊国学園高校
- 2 湯原 正行 長野 チームタイムトライアル
- 3 青木 亮太 群馬 ルーブ RC
- 4 前田 義和 鹿児島 鹿児島実業高校
- 5 吉松 直人 高知 リンゴ-ロード T.T 城北
- 6 須賀 和彦 茨城 取手第一高校

男子4km個人追抜競走



- 1 黒木 裕介 宮崎 法政大学 4:54.297
- 2 浦門 義人 兵庫 中京大学 4:57.306
- 3 臼井 昌巨 岐阜 岐南工業高 4:57.797
- 4 伊藤 太一 山梨 日本大学 5:00.488
- 5 明珍多久雄 福島 日本大学 4:58.942
- 6 吉野 鉄平 広島 日本大学 5:03.738

男子ポイントレース (30km)

- 1 西谷 泰治 広島 日本大学 20p
- 2 三瀬 光誠 山形 村山農業高校 18p
- 3 高島 豪 埼玉 中央大学 17p
- 4 片山 智晴 岡山 法政大学 12p
- 5 坂本 昌宏 青森 八戸工業高校 11p
- 6 柴田 祐也 岐阜 法政大学 11p

男子ケイリン

- 1 朝倉 佳弘 東京 パンポイント'90
- 2 篠原 忍 群馬 中央大学
- 3 塩原 正長 広島 丹波乳業
- 4 吉田 康則 岡山 三菱化学物流



- 5 山口 裕之 山形 法政大学
- 6 石丸 健次 千葉 陸上自衛隊

女子500m タイムトライアル



- 1 太刀川麻也 茨城 M-Project 38.066
- 2 篠崎 新純 千葉 千葉経大付高 38.156
- 3 遠藤 友子 大分 鹿屋体育大学 38.516
- 4 中尾 友美 奈良 筑波大学 39.324
- 5 落合麻衣子 宮城 古川工業高校 39.817
- 6 平中あゆ美 岩手 伊保内高校 40.297

女子スプリント



- 1 太刀川麻也 茨城 M-Project
- 2 篠崎 新純 千葉 千葉経済大学付属高
- 3 遠藤 友子 大分 鹿屋体育大学
- 4 中尾 友美 奈良 筑波大学
- 5 伊東 静香 宮城 古川工業高校
- 6 落合麻衣子 宮城 古川工業高校

女子3km個人追抜競走



- 1 斎藤 綾 秋田 順天堂大学 4:12.293
- 2 木村 春恵 青森 八戸大学 4:14.010
- 3 村中恵美子 東京 杉ミヅリ 4:10.481
- 4 杉村 久美 岩手 スカイ和 4:22.429
- 5 許斐真由子 鹿児島 鹿屋体育大 4:21.270
- 6 中村 珠藻 奈良 順天堂大学 4:22.499

女子ポイントレース (16km)



- 1 大塚 歩 栃木 ビックリ-功ダス+00 15p
- 2 斎藤 綾 秋田 順天堂大学 15p
- 3 木村 春恵 青森 八戸大学 12p
- 4 坂井田理沙 青森 八戸大学 10p
- 5 中村 珠藻 奈良 順天堂大学 7p
- 6 松永 舞美 香川 法政大学 6p

男子マシソン (40km)



- 1 広島県 吉井・吉野 52p
- 2 中部選抜 楠本・郡山 (-1)22p
- 3 学連1 近藤・明珍 (-1)21p
- 4 学連2 園谷・盛 (-2)14p
- 5 富山県 岡部・坂本 (-3)8p

男子チームスプリント



- 1 中国選抜 福井・塩原・吉田 1:42.230
- 2 高体連 橋本・甲斐・北津留 1:42.460
- 3 実業団 青木・瀬瀬・今泉 1:44.219

男子4km団体追抜競走



- 1 高体連 白井・小岩・青木・伊原 4:35.664
- 2 広島県 西谷・吉野・吉井・福本 4:40.978
- 3 青森県 石田・大野・坂本・五日市 4:41.716
- 4 福島県 近藤・明珍・糸賀・熊谷 4:44.165



第22回アジア自転車競技選手権 第9回ジュニア・アジア自転車競技選手権



エリートチームスプリント

選手28名(トラック19名、ロード9名)スタッフ13名の大所帯での参加。結果は、既報のとおり金10、銀8、銅4。連日35℃を越える暑さの中、体調管理もうまく調整でき、それぞれベストで戦えた。

4年前のアジア大会と同じ333mバンク。観客席から見てもデコボコが明らかに分かる悪走路。また、大会前前日、練習直前に日本の台風以上のスコールでバンコクの町中水浸しで、当然バンクも水没。しかし、2時間後にはほとんど水が引き、何事もなかったように練習は再開された。

<エリート>

スイスのWCC(ワールドサイクリングセンター)で今年1月からトレーニングを積んでいる大森慶一は、今年初めての1kmTTであったが、他を断然引

き離し大会2連覇。しかしタイムには大いに不満が残る。せめて4秒台は欲しかった。この後ワールドカップモスクワの出場が決まっているが、更なる飛躍を望む。

スプリントは、今年からエリートとなった永井清史。彼もWCCのメンバーの一人。昨年、台湾・台中で200mのジュニア世界タイ記録10.236を出したことから否応なしに期待がかかったが、結果は10.719。他は11秒台で難なく予選1位。決勝までは軽く勝ち進んだが、決勝1本目、油断したところを駆けられて負け。その後、雨で2度中断し、緊張がすっかり切れかかったところで、順延の放送。翌日は、集中力も取り戻しすんなり2連勝で大森と同様2連覇(2階級制覇)達成。WCCでは、ハイスピード・ハイパワートレーニングに加え、メ

ンタル面でも強化が図られているが、今回いかに集中力が大事なのか分かったと思う。

これで、二人は世界選手権の切符をゲットしたので、マニエ(WCCトラックコーチ)の指導の下、よりいっそうトレーニングに励み、コペンハーゲンでの好結果を期待している。

4km個人追抜は、第一人者の飯島規之。すでに36歳ではあるが、まだまだトップに君臨し続ける鉄人。ライバルのカザフスタンがいないため、あっさり優勝。

チームスプリントは、長塚智広・永井・大森のトリオ。練習では長塚の驚異的なスタートダッシュに離れ気味ではあったが、レースでは何とか付いて行き優勝。

ケイリン。予選、栗田雅也は先行策で難なく突破。堤洋は後方からの豪快なまくりも2着。決勝は、栗田・堤の順でペーサーの後位を確保。退避後、栗田がそのまま逃げ、ゴール前、堤が差し、優勝。

ポイントレースは、誠と規之のダブル飯島が出場。新ルールを熟知した二人が1・2位を独占した。

<ジュニア>

遠藤友子が早生まれのため今年も出場。500mTTでは、よもやの3位。昨年優勝したし、今年も当然と思っていただけにショックは大きい。しかし、スプリントは横綱相撲で、ストレート勝ちで優勝。

スプリントの北津留翼はまだ2年生だが、すでに昨年の国体で1年生なが



エリート1kmTT1位の大森



ケイリン決勝のスタート



ジュニアチームスプリント

ら優勝し、大物の片鱗を見せている。ここでもその片鱗を如何なく発揮し堂々優勝。

個人追抜の白井昌巨は、相手のペースを見ながら対応していれば勝てたと思うが、緊張したのか逆に相手にペースを握られ、最後は引き離されて結果は2位。

チームスプリントは、橋本強・北津留・白井。1km 2位の橋本が引っ張り、二人が続き、堂々優勝。

この大会には、韓国の一部の選手がアジア大会に向けた合宿に参加のため来なかったり、同時期にワールドカップ第2戦がシドニーで行われたこともあって、大会レベルが下がったとも言われるが、その結果は今秋のアジア大会ではっきりするであろう。

大会の運営については、昨年の台中に比べると、まだマシではあった。しかし、表彰式ではゲストやスポンサーがメインであったため、午前中にレースを終えた選手が、表彰式のためだけに午後遅く再びバンクまで行かなければ



エリートポイント1位の飯島

ならなかった。また、スケジュールの管理が悪く、時間の変更が度々あった。監督会議で打合せたにもかかわらず、ドーピング検査の対象者も掲示しない。それも1位のみしか検査しない。出場登録した選手がスタートリストに載っていない。などなど枚挙に遑がなかった。

それでも、各選手・スタッフは柔軟に対応し今回の結果を出すことが出来た。皆さん、お疲れ様でした。

[競技結果]

[トラックレース]

男子エリート1kmタイムトライアル			
1	大森 慶一	JPN	1:05.986
2	CHIN HSUN LIN	TPE	1:07.112
3	YAN LIHENG	CHN	1:07.600

男子エリートスプリント			
1	永井 清史	JPN	
2	HSIEN TANG WU	TPE	
3	GAO ZHIGUO	CHN	

男子エリートケイリン			
1	堤 洋	JPN	
2	栗田 雅也	JPN	
3	SHI QUINGYU	CHN	

男子エリート個人追抜競走			
1	飯島 規之	JPN	4:48.302
2	ASKARI HOSSEIN	IRI	4:52.323
3	WONG KAM PO	HKG	4:56.665

男子エリートホップイントレース (30km)			
1	飯島 誠	JPN	58p
2	飯島 規之	JPN	44p
3	WONG KAM PO	HKG	34p

男子エリートエリミネーション			
1	ZARGARI AMIR	IRI	
2	飯島 誠	JPN	
3	YULIANTO AGUS	INA	
13	坂口 博	JPN	

男子エリートチームスプリント			
1	日本 (大森・永井・長塚)		1:03.270
2	CHN		1:04.483
3	TPE		1:03.996

男子エリート団体追抜き			
1	CHN		4:29.436
2	IRI		4:31.948
3	JPN (坂口・窓場・諸橋・黒木)		4:35.218

女子エリート500mタイムトライアル			
1	JIANG YONGHUA	CHN	35:672
2	太刀川 麻也	JPN	37:274
3	YI WEN LU	TPE	38:291

女子エリートスプリント			
1	TIAN FANG	CHN	
2	太刀川 麻也	JPN	
3	YI WEN LU	TPE	

女子エリートホップイントレース			
1	YUNG LIMEI	CHN	37p
2	HSIAO YUN LAN	TPE	25p
3	ZHENG PUXIANG	CHN	13p
5	松永 舞美	JPN	5p

女子エリート3km個人追抜競走			
1	ZHAO HAI JUAN	CHN	3:57.241
2	MUZIZAH UYUN	INA	4:02.345
3	HSIAO YUN LAN	TPE	4:07.710
6	松永 舞美	JPN	4:17.516

女子エリートエリミネーション			
1	TRI KUSUMA SANTIA	INA	
2	MUZIZAH UYUN	INA	
3	YU HONG	CHN	
8	松永 舞美	JPN	

男子ジュニア1kmタイムトライアル			
1	CHOI JEONG WOOK	KOR	1:08.281
2	橋本 強	JPN	1:08.942
3	PO HUNG WU	TPE	1:09.334

男子ジュニアスプリント			
1	北津留 翼	JPN	
2	CHOI JEONG WOOK	KOR	
3	TISIN Mohd Rizal	MAS	

男子ジュニア3km個人追抜競走			
1	JANG SUN JAE	KOR	3:35.282
2	白井 昌巨	JPN	3:41.552
3	KOLESSOV ALEXEY KAZ		3:43.889
6	西村 光太	JPN	3:49.995

男子ジュニアホップイントレース (24km)			
1	JANG SUN JAE	KOR	36p
2	PARK SEONG BAEK	KOR	34p
3	三瀧 光誠	JPN	25p
6	池田 丈志	JPN	18p

男子ジュニアエリミネーション			
1	SHOJEYAN MOHAMADIRI		
2	LAM KAI TSUN	HKG	
3	MURAVYOV EVGENIY KZA		
7	須賀 和彦	JPN	

男子ジュニアチームスプリント			
1	JPN (橋本・白井・北津留)		1:06.070
2	CHN		1:06.930
3	KOR		1:07.194

男子ジュニア団体追抜き			
1	KOR		4:35.434
2	TPE		4:37.207
3	日本 (三瀧・須賀・池田・白井)		4:43.700

女子ジュニア500mタイムトライアル			
1	GU SUNG EUN	KOR	37:419
2	MEI YU HSIAO	TPE	37:785
3	遠藤 友子	JPN	38:156

女子ジュニアスプリント			
1	遠藤 友子	JPN	
2	LEE Min Haz	KOR	
3	XIAO PEI	CHN	

女子ジュニア2km個人追抜競走			
1	MEI YU HSIAO	TPE	2:40.666
2	FAN YONGLI	CHN	2:42.920
3	GU SUNG EUN	KOR	2:42.963

女子ジュニアホップイントレース			
1	GU SUNG EUN	KOR	21p
2	LI PEIHONG	CHN	13p
3	MEI YU HSIAO	TPE	11p

女子ジュニアエリミネーション			
1	GU SUNG EUN	KOR	
2	ZHANG WENJUAN	CHN	
3	MU DI	CHN	

エリート 女子ロード8位大塚、2位中村、6位木村(左から)



アジア選手権に出場して

木村 春恵(写真右)

3月12日に代表の内定をもらってから、レース前日の5月5日迄、初出場ということもあり、不安と期待の入り混じった気持ちで練習してきました。レース経験のある大塚さんや中村さんから、前々から色々話を聞いてはいましたが、今ひとつイメージを掴みきれませんでした。現地入りしてからも毎晩のように女子3人でミーティングをしてきましたが、私は意見を出せずにいました。そんな中で立てた目標は、チームとしては、「メダルをとること。」自分としては、「35kmからの登りで絶対はなれず、ゴールスプリントに持ち込む。」ということでした。

レース当日、私自身の目標は単純明快なものだったので、それまでの不安とはうらはらに、リラックスしてスタートすることができました。スタートしてすぐに、中国の選手が1人で逃げましたが、それ以外は、2人が話していたアジアのレース独特の牽制状態になりました。自分たちがマークする選手を1人ずつ決めて走っていたにもかかわらず、20km地点でまたも中国の選手を1人逃がしてしまい、そのまま登りに入ってしまった。スタートから逃げた中国の選手は登りの途中で交わりましたが、もう1人はもう先に行ってしまった。そうこうしているうちに、中村さんがアタックというわけでもなくスーッと前に行きました。そこで私の甘さが出ました。私は、中村さんとはたいした差ではないと判断し、またすぐに追いつけるだろうと判断してしまいました。この判断ミスが先を行く中国選手に日本チームが追いつけなくなる原因になってしまいました。結局中村選手は1人で中国選手を追うことになり、そのまま2位でゴール。私は目標どおりゴールスプリントになったものの、身体がまったく動かず6位という結果に終わってしまいました。

今回アジアでのレースを初めて経験し、ロードWCとは違う難しさを知ると同時に、自分の力不足を感じました。次回代表に選ばれた時には、この経験を生かし、表彰台の真ん中目指して頑張りたいと思います。最後になりましたが、この遠征を支えていただいたスタッフの皆さん本当に有難うございました。

[競技結果]

[ロードレース]

男子エリート個人タイムトライアル (42km)



- | | | | |
|---|----------------|-----|----------|
| 1 | 岡崎 和也 | JPN | 55:07.94 |
| 2 | SUSANTO TONTON | INA | 56:53.05 |
| 3 | SHI GUI JUN | CHN | 57:04.89 |

男子エリート個人ロードレース (197km)

- | | | | |
|----|---------------------|-----|------------|
| 1 | WANG GUOZHANG | CHN | 4:44:22.00 |
| 2 | KAZEMISARAI AHADIRI | | 4:44:55.00 |
| 3 | WONG KAM PO | HKG | 4:45:32.00 |
| 4 | 渋谷 淳一 | JPN | 4:45:33.00 |
| 8 | 鈴木 真理 | JPN | 4:45:46.00 |
| 10 | 狩野 智也 | JPN | 4:46:21.00 |
| 11 | 岡崎 和也 | JPN | 4:46:23.00 |

女子エリート個人タイムトライアル (25km)

- | | | | |
|---|---------------------|-----|----------|
| 1 | LI MEIFANG | CHN | 34:30.57 |
| 2 | YUAN YANGE | CHN | 36:29.22 |
| 3 | CHAPOOKUM MORNRUDEE | THA | 38:00.48 |
| 5 | 大塚 歩 | JPN | 38:44.17 |

女子エリート個人ロードレース (106km)

- | | | | |
|---|--------------|-----|------------|
| 1 | YANG LIMEI | CHN | 3:08:32.38 |
| 2 | 中村 珠藻 | JPN | 3:10:14.42 |
| 3 | JIANG YANXIA | CHN | 3:30:07.08 |
| 6 | 木村 春恵 | JPN | 3:30:07.41 |
| 8 | 大塚 歩 | JPN | 3:30:08.09 |

男子ジュニア個人タイムトライアル (25km)

- | | | | |
|---|---------------------|-----|---------|
| 1 | KOLESSOV ALEXEY KAZ | | 33:42.7 |
| 2 | KIM DONG YOUNG | KOR | 34:12.8 |
| 3 | JANG SUN JAE | KOR | 34:36.3 |
| 6 | 池田 丈志 | JPN | 35:54.3 |

男子ジュニアロードレース (106km)

- | | | | |
|---|----------------------------|-----|------------|
| 1 | KOLESSOV ALEXEY KAZ | | 2:45:35.60 |
| 2 | PARK SEONG BAEK | KOR | 2:45:36.00 |
| 3 | SETED REZAEI SETED MOSTAFA | IRI | 2:46:51.40 |
| 5 | 池田 丈志 | JPN | 2:48:21.51 |

女子ジュニア個人タイムトライアル (10km)

- | | | | |
|---|-------------------|-----|----------|
| 1 | GU SUNG EUN | KOR | 15:15.68 |
| 2 | FAN YONGLI | CHN | 15:18.80 |
| 3 | MONTASIN CHANPENG | THA | 15:27.94 |

女子ジュニアロードレース (60km)

- | | | | |
|---|----------------------|-----|---------|
| 1 | GU SUNG EUN | KOR | 2:16:53 |
| 2 | OUPPACHAKUM PORNNAPA | THA | 2:16:53 |
| 3 | ZHANG WENJUAN | CHN | 2:16:53 |

トラック・ワールドカップ第3戦 モスクワ大会 飯島 誠 ポイントレースで銅メダルを獲得!!

5月31日から6月2日の3日間ロシア・モスクワにてワールドカップ第3戦が開催された。第2戦のシドニー大会はアジア選手権大会と日程が重なり参戦できず。会場のクリラツコエ自転車競技場は、1980年のモスクワオリンピックの際建設された。周長333.33m、室内板張り、最大斜度42度。2000年のワールドカップ第1戦も開催されている。

今回、日本選手団は若手を中心にWCCでトレーニング中の大森慶一、永井清史が合流し参戦。

チームスプリントではこの種目でシドニーオリンピックに出場した、長塚と共に予選3位と健闘としたが、3~4位決定戦でドイツチームに敗れ惜しくも表彰台に上がれなかった。

ケイリンは今年から新たに女子の種目にも加わり、男女とも予選、決勝と初日にプログラムが組まれた。栗田雅也は予選2組に出場し2位となるが、準決勝で敗退、7~12位決定戦で4位となり10位に終わった。優勝はラトビアのKIKSIS Ainars。

また今回、飯島 誠 前回シドニー五輪代表がポイントレースに出場し、積極的な走りを見せ、26名中3位と健闘し銅メダルを獲得した。



飯島 誠

所 属 日本プロサイクリスト協会
チーム スミタ・ラバネロ・パールイズミ
1971年2月21日生 169cm、62kg
東京都出身 中央大学卒業
'01国内ランキング(エリート男子)
ロードレース 7位、ポイントレース 11位

[競技結果]

男子ポイントレース(30km)
1 BROWN Graeme AUS 30p

2 LAVRENIENKO Sergey KAZ 29p
3 飯島 誠 JPN 20p

男子チームスプリント

1 GBR 59.366
2 AUS 1:00.238
3 GER 1:00.641
4 日本(永井・長塚・大森) 1:01.229

男子ケイリン

1 KIKSIS Ainars LAT
2 BAYLEY Ryan AUS
3 VILLANUEVA TRINIDAD Jose Antonio ESP
10 栗田 雅也 JPN

男子スプリント

1 WOLFF Rene GER
2 KWIATKOWSKI Lukasz POL
3 ROUSSEAU Florian FRA
11 永井 清史 JPN

男子1kmタイムトライアル

1 LAUSBERG Soren GER 1:01.751
2 VYNOKUROV Andriy UKR 1:02.447
3 STAFF Jamie Alan GBR 1:02.532
8 大森 慶一 JPN 1:04.095

男子スクラッチ(15km)

1 POLATAYKO Lyubomyr UKR 17:40.1
2 ALZAMORA RIERA Miquel ESP
3 VRBA Ivan CZE
26 飯島 誠 JPN



「アンチドーピングのための質問用紙」

アンチドーピングに係る事項(薬・規則等)について、質問を受け付けます。この用紙に記入の上FAXするか、メールでご質問下さい。

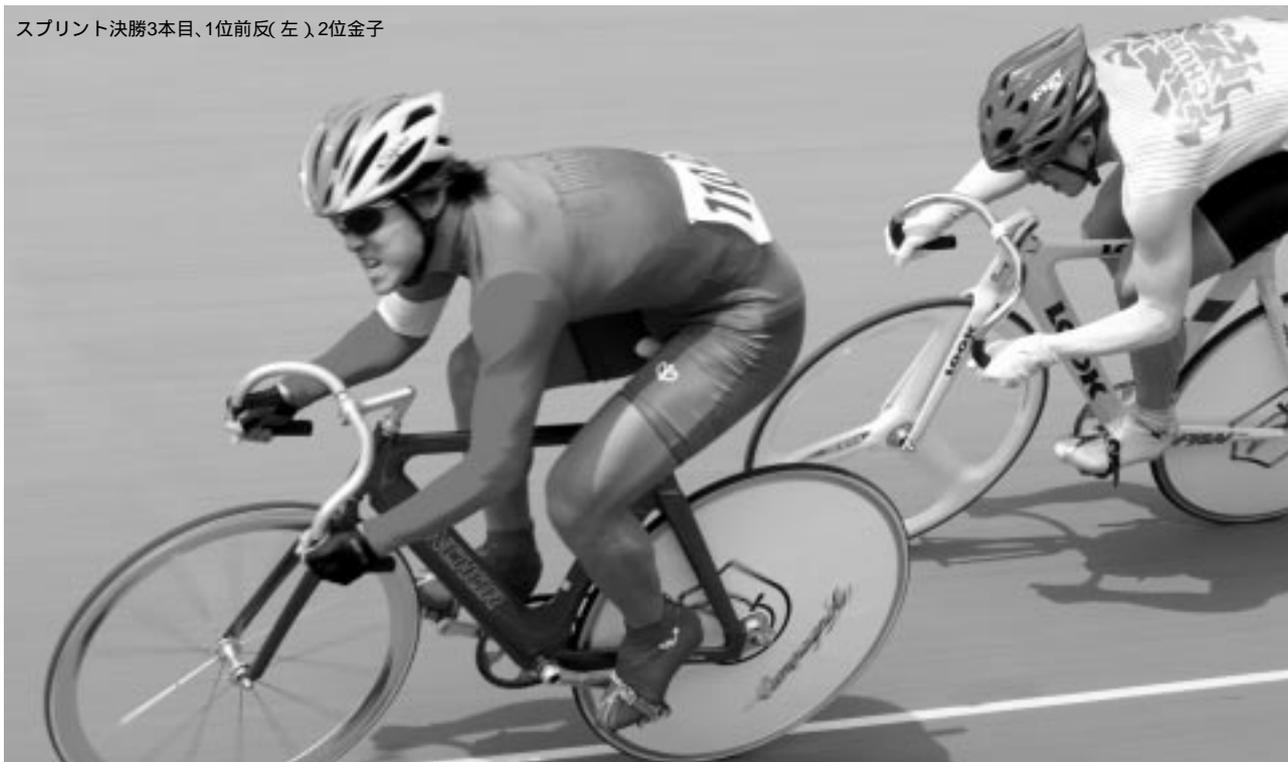
<p>〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館 秘団法人 日本自転車競技連盟</p> <p>電話番号：03-3582-3713 FAX番号：03-5561-0508 Eメール：cycling@japan-sports.or.jp</p>		<p>質問事項 製薬会社名、剤形(顆粒、錠剤など)、使用目的など、できるだけ詳しく記入して下さい。</p>	
		<p>以下の項目の該当するものについてチェックして下さい</p> <p> <input type="checkbox"/> 薬 <input type="checkbox"/> 競技規則 <input type="checkbox"/> その他 </p> <p> <input type="checkbox"/> 医薬品(病院) <input type="checkbox"/> 市販薬(薬局) <input type="checkbox"/> 栄養補助食品(健康食品) <input type="checkbox"/> その他 </p>	
<p>質問者： 所属団体： 競技種目： FAX： E-mail： (選手、監督等)</p>		<p>年齢・性別：()歳 男・女 連絡先住所： 電話： E-mail：</p>	

拡大コピーをお使いください。

当用紙はホームページ内アンチドーピングページにてダウンロードできます。

第49回全日本プロ選手権自転車競技大会

スプリント決勝3本目、1位前反(左)、2位金子



1kmTT優勝の伏見



4km個人追抜優勝の佐々木

トラック

第49回全日本プロ選手権大会トラック競技が5月11～12日、京王閣競輪場で開催された。

また同大会に併せて、日本競輪選手会50周年記念のイベントも催された。

[競技結果]

1kmタイムトライアル

1	伏見 俊昭	福 島	1:04.500
2	稲村 成浩	群 馬	1:05.353
3	村上 義弘	京 都	1:05.371
4	荒井 崇博	佐 賀	1:05.971
5	濱田 浩司	愛 媛	1:06.091
6	新田 康仁	静 岡	1:06.202

スプリント

1	前反祐一郎	広 島
2	金子 貴志	愛 知
3	上吹越直樹	鹿児島
4	布居 寛幸	和歌山

ケイリン

1	斉藤登志信	山 形
2	小橋 正義	新 潟
3	會田 正一	千 葉
4	東出 剛	千 葉
5	山口 富生	岐 阜
6	星島 太	岡 山

4km個人追抜競走

1	佐々木孝司	青 森	4:52.721
2	飯島 規之	埼 玉	4:54.100
3	諸橋 愛	新 潟	5:01.790
4	久保田奉文	福 井	5:03.508

5	野井 正紀	神奈川	5:04.167
6	鳥生 知八	愛 媛	5:04.330

ポイントレース

1	大塚 英伸	静 岡	42p
2	窓場加乃敏	京 都	41p
3	鱈淵 正利	愛 知	36p
4	山中 猛	冲 縄	31p
5	大矢 将大	新 潟	15p
6	岩本 和也	石 川	15p

4km団体追抜競走

1	中部地区	坂上 ⁺ ・北野 ⁺ ・坂上 ⁺ ・北野	4:36.497
2	関東地区	笹川・中山・田村・阿部	4:36.646
3	南関東地区	遠澤・川越・梶山・畠山	4:39.975
4	近畿地区	榎田・中澤・古原・原田	4:43.321
5	中国地区	斉藤 ⁺ ・郡 ⁺ ・中村 ⁺ ・石黒	4:38.501
6	北日本地区	高谷 ⁺ ・小泉 ⁺ ・木村 ⁺ ・佐々木	4:40.352

チームスプリント

1	関東地区	坂本 ⁺ ・神山 ⁺ ・幸田	1:16.507
2	中部地区	島野 ⁺ ・渡会 ⁺ ・富永	1:17.042
3	北日本地区	伏見 ⁺ ・金古 ⁺ ・岡部	1:16.953
4	中国地区	藤井 ⁺ ・橋村 ⁺ ・吉本	1:18.063
5	九州地区	荒井 ⁺ ・養原 ⁺ ・原	1:17.679
6	近畿地区	渡辺 ⁺ ・中村 ⁺ ・渡辺 ⁺	1:17.893

団体成績

1	関東地区	46p
2	中部地区	38p
3	南関東地区	35p

外国招待選手のスプリント



団体追抜1位の中部地区

ロード

また、第49回全日本プロ選手権大会ロード競技は6月11日、栃木県のツインリンクもてぎの4.8kmコース20周で開催された。

レースは飯島規之が5周目から単独で逃げ、一時は2分近く後続集団と差を付けたが、最終的には36秒差で逃げ切った。



一人逃げ切った飯島規之



[競技結果]

個人成績 (96km)

1	飯島 規之	関東地区	2:23:58.02
2	舛井 幹雄	中部地区	2:24:33.81
3	中井 健二	中国地区	2:24:34.03
4	児玉 利文	中部地区	2:24:38.84
5	宇根 秀俊	四国地区	2:24:39.59
6	武井 大介	南関東地区	2:24:39.89
7	佐野多喜男	関東地区	2:24:40.24
8	内田 新二	中部地区	2:24:41.24
9	山根 泰道	中国地区	2:24:41.30
10	白木 正彦	北日本地区	2:24:41.43

団体成績

1	中部地区	147p
2	南関東地区	129p
3	関東地区	118p

2002 ロード・トラック・ランキング (5月現在)

[ロードレース]

男子エリート・ロードレース

E	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	鈴木 真理	JPCA	E	P	2,466.5
2	新保 光起	JPCA	E	P	1,078.6
3	福島 晋一	JPCA	E	P	1,076.3
4	飯島 誠	JPCA	E	P	1,061.3
5	今西 尚志	京都	E	m	1,036.4
6	広瀬 敏	石川	E		1,012.6
7	狩野 智也	JPCA	E	P	990.0
8	行成 秀人	岡山	E		972.5
9	岡崎 和也	JPCA	E	P	899.7
10	真鍋 和幸	JPCA	E	P	739.5
11	田中 光輝	愛知	E	m	512.3
12	大内 薫	大阪	E		479.0
13	柿沼 章	栃木	E	m	398.8
14	鈴木 新史	JPCA	E	P	373.0
15	阿部 良之	JPCA	E	P	371.8
16	中川康二郎	茨城	E	m	360.0
17	江下健太郎	愛知	E		353.0
18	鈴木 雷太	長野	E	P	295.1
19	高橋 祐介	栃木	E		262.0
20	渋谷 淳一	JPCA	E	P	260.0
21	飯田 輝男	茨城	E		254.0
22	水谷 壮宏	JPCA	E	P	240.0
23	野口 忍	京都	E		225.5
24	山本 雅道	神奈川	E		221.3
25	武内 誠	愛知	E		208.0
26	浅野 浩一	東京	E		196.0
27	米山 一輝	東京	E		182.0
28	岡田 哲也	JPCA	E	P	180.0
29	矢澤 真幸	京都	E		177.6
30	廣瀬 佳正	JPCA	E	P	160.0
31	別府 匠	神奈川	E		150.0
32	秋田 謙	愛知	E		128.0
33	坂口 博	愛知	E		124.0
33	日置 大介	兵庫	E		124.0
35	藤野 智一	JPCA	E	P	120.0
35	田中 泰治	北海道	E		120.0
35	西谷 雅史	東京	E	m	120.0
38	広瀬 学	石川	E	m	88.0
39	高村 直樹	山梨	E		80.0
39	中里 聡史	埼玉	E		80.0
39	三木 哲也	兵庫	E		80.0
42	沼田 信也	神奈川	E		78.4
43	西村 拓朗	京都	E		75.2
44	寛 五郎	長野	E		72.0
44	渡辺 忠義	三重	E		72.0
44	浅見 和洋	東京	E		72.0
44	梶木 恒介	大阪	E	m	72.0
48	橋本 健	東京	E		60.0
49	小畑 郁	東京	E		52.0
50	加藤 康則	愛知	E		50.0

男子U23・ロードレース

U	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	石田 哲也	愛知	U		692.0
2	辻 貴光	京都	U		658.4
3	吉井 淳	広島	U		527.3
4	河野 通明	京都	U		511.3
5	内山 靖樹	大阪	U		477.3
6	小野寺孝太	岩手	U		418.0
7	普久原 奨	沖縄	U		407.8
8	清水 良行	岡山	U		401.0
9	向川 尚樹	大阪	U		388.9
10	山本 敬純	大阪	U		381.4
11	辻浦 圭一	奈良	U		375.0
12	岩本 竜太郎	広島	U		374.5
13	大塚 潤	静岡	U		367.0
14	上田 誠	奈良	U		359.8

U	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
15	品川 真寛	京都	U		354.8
16	和田野公次	大阪	U		352.0
17	鈴木 謙一	岡崎	U		304.5
18	小林 誠	滋賀	U		289.4
19	管 洋介	東京	U		275.5
20	三浦 勇一	京都	U		244.6
21	西谷 泰治	広島	U		236.5
22	渡邊 哲平	京都	U		231.9
23	平井 信昭	兵庫	U		220.0
24	盛 一大	茨城	U		207.4
25	深尾 和孝	埼玉	U		195.0
26	柏原 剛	京都	U		171.0
27	稲田 佳弘	愛知	U		163.2
28	辻 龍一	大阪	U		162.9
29	津末 浩平	大分	U		162.8
30	明珍 多久雄	福島	U		144.0

男子ジュニア・ロードレース

J	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	池田 丈志	奈良	J		625.0
2	西村 光太	三重	J	u	600.0
3	小野 哲裕	神奈川	J		360.0
4	村上 純平	山形	J		285.0
5	柿本 純介	山分	J		265.0
6	谷垣 雄基	京都	J		260.0
7	辻 善光	京都	J		246.0
8	島田 真琴	東京	J	u	235.0
9	天沼 雅貴	北海道	J		200.0
10	立里 匡道	山形	J		190.0
11	櫻井 透	神奈川	J	s	182.0
12	長沼 隆行	埼玉	J		140.0
13	池田 直道	兵庫	J		128.0
14	竹之内脩兵	京都	J		126.0
15	松村 光浩	和歌山	J		120.0
16	児玉 規英	東京	J		105.0
17	池田 良	広島	J	u	99.0
18	向川 訓司	大阪	J	s	96.0
18	熊谷 薫	大分	J		96.0
20	金山 慎一郎	千葉	J		91.0
21	内田 翔太	大阪	J		90.0
22	石浦 一憲	京都	J		82.0
22	石井 陽	京都	J	u	82.0
24	矢代 慎吾	富山	J		80.0
24	山田 賢	神奈川	J		80.0
26	湊 年雄	香川	J		77.0
27	畑中 勇介	東京	J		75.0
28	吉次 裕司	山口	J		72.0
28	稲川 翔	大阪	J	u	72.0
30	瀧口 晃広	奈良	J		70.0

女子・ロードレース

F	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	大塚 恵美	東京	U		924.0
2	小野山 恵美	愛媛	E		600.0
3	中村 珠藻	奈良	U		495.0
4	斎藤 綾	秋田	U		487.0
5	福井 万裕美	静岡	U		436.0
6	前川 康子	奈良	U		381.6
7	村中 恵美子	東京	E		316.0
8	林 佐知子	東京	E		310.0
9	永田 萌子	大分	J		300.0
10	岡田 未来	京都	J		290.0
11	許斐真由子	鹿児島	J		240.0
11	谷村 祐子	奈良	J		240.0
13	塩原 桂子	東京	E		239.0
14	篠崎 新純	千葉	J		225.0
15	須藤 朋美	福島	J		221.4
16	西 加奈子	千葉	E		220.0
16	森田 弘子	広島	E		220.0
18	宮崎 杏菜	大分	J		180.0
18	梯 浩子	福岡	E		180.0
20	益田 聖子	福岡	U		178.0
21	玉城 さち	沖縄	U		176.0

F	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
22	岡田由佳子	愛知	J		165.0
23	楠 里紗	東京	J		160.0
24	小高セツコ	京都	E		154.8
25	平中あゆ美	岩手	J		135.0
26	志村 緑	埼玉	J		130.0
27	埋田 麻衣	大分	J		120.0
28	越後 祥子	青森	J		105.0
28	志村 由喜	神奈川	J		105.0
30	増子 郁代	東京	E		100.0

[トラックレース]

男子エリート・タイムトライアル

TT	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	在本 直樹	岡山	E		1,140.0
2	伏見 俊昭	JPCA	E	P	840.0
3	篠原 忍	群馬	U		672.0
3	稲村 成浩	JPCA	E	P	672.0
5	村上 義弘	JPCA	E	P	546.0
6	竹沢 浩司	富山	U		420.0
6	荒井 崇博	JPCA	E	P	420.0
8	鈴木 英介	静岡	U		332.4
9	濱田 浩司	JPCA	E	P	319.2
9	福井 敬司	鳥取	E	m	319.2

男子エリート・スプリント

SP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	湯原 正行	長野	E		867.0
2	前反祐一郎	JPCA	E	P	840.0
3	青木 亮太	群馬	U		786.0
4	金子 貴志	JPCA	E	P	672.0
5	上吹越直樹	鹿児島	U		546.0
6	布居 寛幸	JPCA	E	P	420.0
7	吉松 直人	高知	U		319.2
8	朝倉 佳弘	東京	U		240.0
9	櫻山新太郎	福岡	U		200.0
9	小堺 浩二	石川	U		200.0

男子エリート・個人追抜競走

IP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	浦門 義人	兵庫	E		872.0
2	黒木 裕介	宮崎	U		840.0
2	佐々木孝司	青森	E		840.0
4	飯島 規之	JPCA	E	P	672.0
5	伊藤 太一	山梨	U		550.0
6	諸橋 愛	JPCA	E	P	546.0
7	久保田 奉文	福井	E		420.0
8	吉野 鉄平	広島	U		395.2
9	明珍 多久雄	福島	U		319.2
9	野井 正紀	JPCA	E	P	319.2

男子エリート・ポイントレース

PR	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	西谷 泰治	広島	U		840.0
1	大塚 英伸	JPCA	E	P	840.0
3	窓場加乃敏	JPCA	E	P	672.0
4	高島 豪	埼玉	U		622.0
5	鰐淵 正利	JPCA	E	P	546.0
6	山中 猛	JPCA	E	P	420.0
7	大矢 将大	JPCA	E	P	319.2
8	飯島 誠	JPCA	E	P	300.0
9	高橋 栄光	岩手	E		240.0
10	柴田 祐也	岐阜	U		235.2
10	岩本 和也		E		235.2

男子エリート・ケイリン

KE	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	朝倉 佳弘	東京	U		1,140.0
2	篠原 忍	群馬	U		702.0
3	吉田 康則	岡山	E	m	660.0
4	塩原 正長	広島	E	m	546.0
5	山口 裕之	山形	U		479.2
6	石丸 健次	千葉	E	m	430.2
7	櫻井 丈	静岡	U		240.0
8	松井 健	滋賀	U		200.0
8	井戸川智則	福島	U		200.0
10	矢野 賢児	高知	E	m	168.0

男子ジュニア・個人追抜競走

IP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	臼井 昌巨	岐阜	J		546.0
2	吉田 裕全	埼玉	J		240.0
3	熊谷 薫	福島	J		192.0
4	青木 康貴	岐阜	J		156.0
5	池田 丈志	奈良	J		120.0
6	矢代 慎吾	富山	J		91.2
7	小岩 大介	大分	J		67.2
8	是永 幸寛	福岡	J	u	48.0
9	大村 寛	鹿児島	J		36.0
10	福島 高弘	大阪	J		33.6

女子・スプリント

SP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	太刀川麻也	茨城	E		840.0
2	篠崎 新純	千葉	J		672.0
3	中尾 友美	奈良	U		620.0
4	遠藤 友子	大分	J		546.0
5	須藤 朋美	福島	J		326.0
6	伊東 静香	宮城	J		319.2
7	遠山 恵	岩手	U		298.0
8	落合麻衣子	宮城	J		235.2
9	藤原亜衣里	新潟	U		230.0
10	大塚 恵美	東京	U		160.0
10	石井 寛子	埼玉	J		160.0

男子プロ・ケイリン

KE	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	齋藤登志信	JPCA	E	P	840.0
2	小橋 正義	JPCA	E	P	672.0
3	會田 正一	JPCA	E	P	546.0
4	東出 剛	JPCA	E	P	420.0
5	山口 富生	JPCA	E	P	319.2
6	星島 太	JPCA	E	P	235.2
7	伊藤 保文	JPCA	E	P	126.0
8	太田 真一	JPCA	E	P	117.6

男子ジュニア・ポイントレース

PR	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	三瀧 光誠	山形	J		912.0
2	坂本 昌宏	青森	J		511.2
3	片山 智晴	岡山	J	s	476.0
4	立里 匡道	山形	J		216.0
5	櫻井 透	神奈川	J	s	160.0
6	松村 光浩	和歌山	J		156.0
7	前田 雅則	和歌山	J		120.0
8	桐本 祥吾	岐阜	J		91.2
9	西村 光太	三重	J	u	67.2
10	菊地 純一	栃木	J		36.0

女子・個人追抜競走

IP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	齋藤 綾	秋田	U		1,040.0
2	村中恵美子	東京	E		746.0
3	杉村 久美	岩手	E		720.0
4	木村 春恵	青森	U		672.0
5	許斐真由子	鹿児島	U		519.2
6	小野 翔子	栃木	J		407.6
7	須藤 朋美	福島	J		267.2
8	篠崎 新純	千葉	J		240.0
8	永田 萌子	大分	J		240.0
10	中村 珠藻	奈良	U		235.2

男子ジュニア・タイムトライアル

TT	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	橋本 強	愛媛	J		786.0
2	臼井 昌巨	岐阜	J		427.2
3	甲斐 康昭	群馬	J		235.2
4	須賀 和彦	茨城	J		156.0
5	河端 朋之	鳥取	J		120.0
6	川村 崇	東京	J	s	114.0
7	五日市 誠	青森	J		91.2
8	屋良 朝春	沖縄	J	s	60.0
9	西村 行貴	熊本	J	s	56.0
10	植村 翔太	秋田	J		48.0

女子・タイムトライアル

TT	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	篠崎 新純	千葉	J		1,212.0
2	太刀川麻也	茨城	E		840.0
3	中尾 友美	奈良	U		620.0
4	遠藤 友子	大分	J		546.0
5	落合麻衣子	宮城	J		475.2
6	平中あゆ美	岩手	J		427.2
7	仁藤ひろみ	静岡	U		386.0
8	石井 寛子	埼玉	J		336.4
9	齋藤 綾	秋田	U		260.0
10	遠山 恵	岩手	U		217.6

女子・ポイントレース

PR	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	大塚 歩	栃木	E		840.0
2	齋藤 綾	秋田	U		832.0
3	木村 春恵	青森	U		546.0
4	中村 珠藻	奈良	U		449.2
5	坂井田理沙	青森	U		420.0
6	大塚 恵美	東京	U		368.0
7	松永 舞美	香川	U		235.2
8	森本 朱美	鳥取	E		126.0
9	前川 康子	奈良	U		122.4
10	許斐真由子	鹿児島	U		117.6

男子ジュニア・スプリント

SP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	北津留 翼	福岡	J		1,080.0
2	前田 義和	鹿児島	J		612.0
3	屋良 朝春	沖縄	J	s	300.0
4	須賀 和彦	茨城	J		235.2
5	古屋 晋也	大分	J		156.0
6	三澤 康人	宮城	J		120.0
7	松田 優一	茨城	J		91.2
8	吉松 賢二	群馬	J		67.2
9	川村 崇	東京	J	s	60.0
10	千葉 勇氣	岩手	J		48.0

大会日程等変更のお知らせ

変更後日程	大会名	種目	場所
7/19~21	第8回MTBアジア選手権大会	MTB	台湾・shetou
7/20	第7回全日本実業団群馬カップロードレース	RR	群馬・群馬CSC
8/11	第47回全国高等学校自転車道路競走(インターハイ)	RR	茨城県・北茨城
8/30~9/2	第58回全日本大学対抗選手権	TR・RR	静岡・日本CSC
9/22	第8回日韓対抗学生自転車競技大会	TR	神奈川・川崎
9/23	第2回全日本実業団クリテリウムin神戸	RR	兵庫・神戸
9/30~10/3	第14回アジア競技大会ロードレース	RR	韓国・釜山
10/4~10/8	第14回アジア競技大会トラックレース	TR	韓国・釜山
10/10~13	第14回アジア競技大会MTB DH/XC	MTB	韓国・釜山
12/8	第8回全日本シクロクロス選手権大会	CX	滋賀・野洲町

-
- エリート: E(プロ:EP、マスター:Em)
- アンダー-23: U
- ジュニア: J(15才:Ju、18才で1~3月生:Js)
-

競技大会 結果

大会名・チーム名等については略して記載

3DAY CYCLE ROAD 熊野

(4/19-21 和歌山/三重)

7thステージ (個人TT 3km)

1	坂口 博	愛三工業レーシング	3:51.79
2	飯島 誠	スミタ・リバ`和P.	3:53.75
3	鈴木 真理	ワルレーシングチーム	3:55.851
4	岡崎 和也	太地START LINE	3:55.859
5	今西 尚志	ワルレーシングチーム	3:58.24
6	広瀬 敏	新宮FIRE DORAGON	3:58.81
7	大内 薫	ワルレーシングチーム	3:59.04
8	山本 雅道	田辺BENKEI	4:00.61
9	行成 秀人	ミヤタ・スバルレーシング	4:01.20
10	高橋 栄光	スミタ・リバ`和P.	4:01.35

第1ステージ (87.0km)

1	鈴木 真理	ワルレーシングチーム	2:00:36
2	柿沼 章	GIANT A.R.T.	2:00:36
3	行成 秀人	ミヤタ・スバルレーシング	2:00:36
4	田中 光輝	愛三工業レーシング	2:00:36
5	狩野 智也	ワルレーシングチーム	2:00:38
6	阿部 良之	ワルレーシングチーム	2:00:42
7	Ulzii Orshikh Jamsran	GIANT A.R.T.	2:00:59
8	広瀬 敏	新宮FIRE DORAGON	2:01:00
9	野口 忍	村ノルイ	2:01:00
10	岡崎 和也	太地START LINE	2:01:00

第2ステージ (113.4km)

1	鈴木 真理	ワルレーシングチーム	3:00:07
2	新保 光起	愛三工業レーシング	3:00:07
3	飯島 誠	スミタ・リバ`和P.	3:00:07
4	広瀬 敏	新宮FIRE DORAGON	3:00:07
5	柿沼 章	GIANT A.R.T.	3:00:07
6	岡崎 和也	太地START LINE	3:00:07
7	行成 秀人	ミヤタ・スバルレーシング	3:00:07
8	鈴木 雷太	Testach-Racing	3:00:07
9	狩野 智也	ワルレーシングチーム	3:00:10
10	今西 尚志	ワルレーシングチーム	3:00:24

第3ステージ (106.15km)

1	広瀬 敏	新宮FIRE DORAGON	2:55:14
2	KAIRAT Baigudinov	Team ORBEA Ifiカド	2:55:17
3	飯島 誠	スミタ・リバ`和P.	2:55:52
4	岡崎 和也	太地START LINE	2:55:52
5	行成 秀人	ミヤタ・スバルレーシング	2:55:54
6	鈴木 真理	ワルレーシングチーム	2:55:54
7	柿沼 章	GIANT A.R.T.	2:55:54
8	今西 尚志	ワルレーシングチーム	2:56:06
9	新保 光起	愛三工業レーシング	2:56:20
10	鈴木 雷太	Testach-Racing	2:56:20

個人総合成績

1	広瀬 敏	新宮FIRE DORAGON	8:00:05.81
2	鈴木 真理	ワルレーシングチーム	8:00:16.85
3	行成 秀人	ミヤタ・スバル R.	8:00:29.20
4	柿沼 章	GIANT A.R.T.	8:00:31.79
5	飯島 誠	スミタ・リバ`和P.	8:00:43.75

6	岡崎 和也	太地START LINE	8:00:54.85
7	新保 光起	愛三工業レーシング	8:01:22.76
8	今西 尚志	ワルレーシングチーム	8:01:28.24
9	鈴木 雷太	Testach-Racing	8:01:40.27
10	Ulzii Orshikh Jamsran	GIANT A.R.T.	8:03:59.01

団体総合成績

1	ワルレーシングチーム	24:03:47
2	GIANT A.R.T.	24:10:27
3	愛三工業レーシング	24:11:59

第4回全日本学生選手権クワリウム大会

(5/3 滋賀・立命館大学キャンパス)

男子(42km)

1	辻 貴光	立命館大学	26p
2	向川 尚樹	立命館大学	22p
3	清水 良行	京都産業大学	14p
4	吉井 淳	関西大学	10p
5	山本 敬純	立命館大学	10p
6	櫻井 透	立命館大学	7p
7	小林 誠	京都産業大学	6p
8	明珍多久雄	日本大学	5p
9	上田 誠	立命館大学	4p
10	清水 明士	信州大学	3p

女子(14.7km)

1	大塚 恵美	明治大学	23:10.4
2	許斐真由子	鹿屋体育大学	23:44.1
3	石川理久子	中京大学	24:57.2
4	玉城 さち	鹿屋体育大学	24:57.7

第21回西日本学生選手権

(5/5 兵庫・明石自転車競技場)

[男子]

スプリント

1	小堺 浩二	京都産業大学
2	吉田 真也	関西大学
3	沼田 寛礼	立命館大学
4	佐藤 公威	立命館大学
5	相原 章吾	北陸大学
6	稲田 佳弘	名古屋産業大学

1kmタイムトライアル

1	吉井 淳	関西大学	1:12.37
2	島田 迅人	大阪経済大学	1:14.40
3	古市 清隆	北陸大学	1:14.65
4	逸見 真弥	関西大学	1:14.80
5	葛谷 琢磨	中京大学	1:14.86
6	中川 一利	龍谷大学	1:15.02

4km個人追抜競走

1	浦門 義人	中京大学	4:58.75
2	清水 良行	京都産業大学	5:01.52
3	辻 龍一	京都産業大学	5:09.58
4	柏原 剛	立命館大学	5:09.84
5	福本 将	京都産業大学	5:15.87
6	河野 通明	京都産業大学	5:19.40

ホィントレース(24km)

1	向川 尚樹	立命館大学	36p
2	櫻井 透	立命館大学	26p
3	渡邊 哲平	京都大学	25p
4	清水 都貴	鹿屋体育大学	18p
5	土持 隼人	名古屋産業大学	6p
6	三浦 勇一	中京大学	3p

ケイリン

1	松井 健	京都大学
2	小野 旭裕	京都産業大学

3	廣瀬 健一	同志社大学
4	山我 宗永	北陸大学
5	丸山 紀州	桃山学院大学
6	酒井 雅史	名古屋産業大学

4km団体追抜競走

1	京都産業大	福本・小堺・清水良行・辻	4:43.26
2	中京大学	浦門・三浦・向川誠・葛谷	4:48.51
3	立命館大学	辻貴・向川尚・上田・柏原	4:52.57
4	京都大学	矢澤・西村・松井・古賀	5:01.86
5	鹿屋体育大	安藤・小倉・清水都貴・大澤	5:03.77
6	北陸大学	佐々木・花井・山我・村形	5:08.92

チームスプリント

1	関西大学	吉井・吉田・陸野	1:22.68
2	龍谷大学	中川・西川・吉川	1:26.44
3	大阪経済大学	矢野・中島・島田	1:27.45
4	桃山学院大学	的場・西田・丸山	1:29.72
5	名古屋産業大	大石・小川・戸田	1:30.45

[女子]

500mタイムトライアル

1	玉城 さち	鹿屋体育大学	42.96
2	石川理久子	中京大学	43.24
3	許斐真由子	鹿屋体育大学	43.65

3km個人追抜競走

1	許斐真由子	鹿屋体育大学	4:16.07
2	玉城 さち	鹿屋体育大学	4:31.32
3	石川理久子	中京大学	4:34.69

第42回東日本学生選手権自転車競技大会

(5/6 東京・立川競輪場)

男子スプリント

1	櫻山新太郎	福岡 日本大学
2	丸尾 哲司	千葉 順天堂大学
3	室井 佑介	愛知 法政大学
4	北野 大地	岐阜 東北学院大学
5	小池 輝雅	岐阜 東北学院大学
6	吉田 曉弘	東京 東京大学

男子1kmタイムトライアル

1	野口 智史	岐阜 順天堂大学	1:10.379
2	柴田 祐也	岐阜 法政大学	1:10.521
3	西村 尚文	鹿児島 法政大学	1:10.560
4	盛 真徳	茨城 明治大学	1:10.977
5	水野 悟志	静岡 法政大学	1:11.008
6	西村 行貴	熊本 日本大学	1:11.089

男子4km個人追抜競走

1	石田 宏樹	青森 法政大学	4:53.807
2	吉野 鉄平	広島 日本大学	4:55.619
3	伊藤 太一	山梨 日本大学	4:59.160
4	明珍 周兵	福島 法政大学	5:04.854
5	大野 涼太	青森 中央大学	5:09.544
6	糸賀 賢司	福島 日本大学	5:10.283

男子ホィントレース

1	土井 雪広	山形 法政大学	38p
2	明珍多久雄	福島 日本大学	36p
3	普久原 奨	沖縄 日本大学	30p
4	小笠原 豪	青森 日本大学	24p
5	高島 豪	埼玉 中央大学	23p
6	片山 智晴	岡山 法政大学	21p

男子ケイリン

1	井戸川智則	福島 日本大学
2	山口 裕之	山形 法政大学
3	菊地 隼人	栃木 日本大学
4	平岡 靖章	北海道 北海学園北見大学

5	齊藤 翔	千葉 明治大学	
6	清水 祐哉	千葉 順天堂大学	
男子4km団体追抜競走			
1	日本大学	吉野・伊藤・明珍多・盛	4:38.870
2	法政大学	岡田・福留・佐野・明珍周	4:42.515
3	明治大学	齊藤・高森・明珍・盛	4:57.006
4	早稲田大学	浅野・江口・平林	5:03.558
5	東京大学	丹沢・吉田・中田・高月	4:56.750
6	中央大学	水尾・泉川・高島・大野	4:58.021

男子チーム・リット			
1	日本大学	竹沢・前田	1:21.061
2	順天堂大学	清水・丸尾・野口	1:22.035
3	東北学院大学	北野・中島・和田	1:22.065
4	中央大学	松永・本田・小林	1:22.217
5	明治大学	中川・盛・花澤	1:22.545
6	法政大学	山口・鈴木・小野木	1:25.111

女子リット			
1	中尾 友美	奈良 筑波大学	
2	大塚 恵美	大分 明治大学	
3	遠山 恵	岩手 順天堂大学	

女子500mタイムトライアル			
1	中尾 友美	奈良 筑波大学	40.295
2	仁藤ひろみ	静岡 明治大学	41.795
3	齋藤 綾	秋田 順天堂大学	42.465

女子3km個人追抜競走			
1	齋藤 綾	秋田 順天堂大学	4:15.850
2	大塚 恵美	大分 明治大学	4:28.375
3	小野 翔子	栃木 明治大学	4:33.541

門田杯2002年U-23ロードレース
(5/11 静岡・日本CSC)

ロードレース(100km)			
1	石田 哲也	JOA杯 ルーシグ	3:07:21
2	河野 通明	京都産業大学	3:07:23
3	小野寺孝太	日本大学	3:07:25
4	西谷 泰治	日本大学	3:07:26
5	大塚 潤	パルマレシグ	3:07:28
6	菅 洋介	ルノA&TマダR.	3:07:29
7	平井 信明	甲子園大学	3:07:30
8	岩本竜太郎	京都産業大学	3:07:32
9	清水 良行	京都産業大学	3:07:36
10	土井 雪広	法政大学	3:07:37

修善寺カップ2002女子オープントラックロードレース
(5/12 静岡・日本CSC)

ロードレース(20km)			
1	福井万裕美	伊予レシグ	41:10
2	中村 珠藻	順天堂大学	41:15
3	大塚 恵美	明治大学	41:21
4	齋藤 綾	順天堂大学	41:23
5	林 佐知子	東京都	41:27
6	佐藤 智子		41:37
7	村中恵美子	千葉医療福祉学校	41:49
8	塩原 桂子	HOT STAFF	44:09
9	益田 聖子	順天堂大学	44:13
10	伊与田尚加	静岡県	45:35

500mタイムトライアル			
1	大塚 恵美	明治大学	40.809
2	石井 寛子	杉戸農業高校	41.684
3	齋藤 綾	順天堂大学	41.760
4	仁藤ひろみ	明治大学	42.072
5	中村 珠藻	順天堂大学	43.307
6	石川理久子	中京大学	44.282

2km個人追抜競走			
1	須藤 朋美	岩瀬農業高校	2:59.029
2	小野 翔子	明治大学	2:59.868
3	志村 緑	筑大附板戸高校	3:03.198
4	櫻井 夕香	杉戸農業高校	3:20.860

3km個人追抜競走			
1	村中恵美子	千葉医療福祉学校	4:14.202
2	福井万裕美	伊予レシグ	4:20.186
3	栗原 松江	筑大附板戸高校	4:33.913
4	前川 康子	明治大学	4:39.909
5	石川理久子	中京大学	4:40.676

リット			
1	須藤 朋美	岩瀬農業高校	
2	石井 寛子	杉戸農業高校	
3	藤原亜衣里	法政大学	
4	仁藤ひろみ	明治大学	
5	益田 聖子	順天堂大学	
6	池田 慶子	レシグ チームSOMEDAY	

ポイントレース			
1	大塚 恵美	明治大学	21p
2	齋藤 綾	順天堂大学	15p
3	中村 珠藻	順天堂大学	9p
4	福井万裕美	伊予レシグ	5p
5	益田 聖子	順天堂大学	1p
6	藤原亜衣里	法政大学	(-1)3p

総合順位			
1	大塚 恵美	明治大学	28p
2	福井万裕美	伊予レシグ	25p
3	須藤 朋美	岩瀬農業高校	22p
4	齋藤 綾	順天堂大学	20p
5	中村 珠藻	順天堂大学	20p
6	石井 寛子	杉戸農業高校	18p
7	村中恵美子	千葉医療福祉学校・村	12p
8	仁藤ひろみ	明治大学	12p
9	小野 翔子	明治大学	11p
10	藤原亜衣里	法政大学	11p

2002JCF/MTB ジャパンシリーズ J2
(5/12 島根・仁多町三成公園)

XC男子エリート(35.4km)			
1	竹谷 賢二	千葉 フォード/ス	2:06:32.03
2	門田 基志	愛媛 焼島山鳥	2:11:40.45
3	柴田健太郎	福岡 Q-MAX	2:11:48.29
4	森 和規	三重 SANKO	2:12:33.40
5	宮本 光司	フォード/ス	2:14:00.75
6	山田大五朗	福岡 BRIDLER	2:14:00.93
7	高橋 泰夫	岡山 アミゴ倉敷	2:15:18.42
8	下田 洋二	福岡 Q-MAX	2:15:58.08
9	榎本 太郎	福岡 Q-MAX	2:17:40.60
10	坂本 裕規	大阪 Panaracer	2:18:17.03

XC女子エリート(23.6km)			
1	高橋いづみ	東京 シナック	1:43:31.79
2	真下 正美	シナック	1:46:46.59
3	深井 薫	大阪 FUNRIDE	1:50:18.73
4	酒井 真清	大阪 Be-One	1:55:58.55
5	伊藤真里子	京都 チム 川	-1 Lap
6	寺山今日子	大阪 FUNRIDE	-1 Lap
7	高橋 知子	高知	-1 Lap
8	森田 弘子	広島	-1 Lap
9	下田 邦子	福岡 ゲーリーフィッシャー	-2 Laps
10	井上 麻衣	福岡 アトミック	-2 Laps

2002JCF/MTB ジャパンシリーズ J1 XC#2
(5/19 長野・菅平高原牧場)

XC男子エリート(35.0km)			
1	山口 孝徳	長野 MX/MONG	2:09:29.4
2	鈴木 雷太	長野 プリザ'スト	2:10:55.0
3	白石 真悟	大阪 大阪大学	2:11:41.5
4	竹谷 賢二	千葉 FORD	2:11:53.8
5	戸津井俊介	埼玉 YOU CAN	2:13:29.3
6	柴田 富夫	長野 Jamis	2:13:56.2
7	松本 駿	長野 GT Japan	2:14:48.5
8	野口 忍	京都 TREK	2:16:22.5
9	小笠原崇裕	長野 TREK	2:17:02.0
10	堂城 賢	長野 Gary FISHER	2:17:17.8

XC女子エリート(20.0km)			
1	中込由香里	長野 SY-Nak	1:17:30.9
2	高橋いづみ	東京 SY-Nak	1:19:00.4
3	真下 正美	神奈川 SY-Nak	1:22:52.4
4	深井 薫	大阪 FUN RIDE	1:23:23.2
5	酒井 真清	大阪 Be-One	1:24:18.0
6	田中 裕子	長野 SY-Nak	1:26:33.2
7	田崎 綾	千葉	1:28:57.2
8	中口 裕代	長野 TEAM 846	1:29:34.7
9	田近 郁美	岐阜 GOD HILL	1:31:55.3
10	山口麻理子	福井 BALBA	1:32:15.6

2002JCF/MTB ジャパンシリーズ J1 XC#3
(5/26 宮城・仙台泉ヶ岳峠一場)

XC男子エリート(42.0km)			
1	竹谷 賢二	千葉 FORD/SP	2:04:17.3
2	鈴木 雷太	長野 プリザ'スト	2:05:41.1
3	山口 孝徳	埼玉 TEAM MX	2:06:32.7
4	リチャード ナッブ	長野 mx/STORCK	2:07:54.0
5	色川 浩樹	茨城 GIANT J.	2:08:36.0
6	戸津井俊介	埼玉 YOU CAN	2:09:24.5
7	松本 駿	長野 GT JAPAN	2:10:05.9
8	辻浦 圭一	奈良 チム 川	2:10:31.4
9	鈴木 良則	神奈川 teamXARU	2:11:09.0
10	野口 忍	京都 TREK-J.	2:11:33.4

XC女子エリート(24.0km)			
1	高橋いづみ	東京 SY-Nak	1:24:06.5
2	真下 正美	神奈川 SY-Nak	1:27:00.3
3	田崎 綾	千葉 DIATECH	1:34:08.5
4	内田 順子	東京 SY-Nak	1:41:22.4
5	梯 浩子	福岡 シリル・ス	-2 LAP

2002JCF/MTB ジャパンシリーズ J1 DH#1
XC#4(6/1-2 長野・諏訪郡富士見町)

DH男子エリート(4.2km)			
1	内嶋 亮	東京 A&F SANTA	6:19.20
2	塚本 岳	長野 MONGOOSE	6:20.34
3	高橋 唯之	福島 MX/SPEED	6:20.66
4	安達 靖	大阪 Cannondale	6:22.87
5	朝日 昌彦	埼玉 TECH IN	6:25.45
6	丸山 弘起	長野 GT japan	6:25.47
7	大島 礼治	兵庫 GIANT J.	6:26.56
8	丸山由紀夫	愛知 MOM&pop's	6:26.83
9	猪俣 康一	神奈川 FOES CREDIT	6:28.49
10	河合 暁延	愛知 mom&pop's	6:29.66

DH女子エリート(4.2km)			
1	猪俣 浩子	神奈 FOES CREDIT	7:04.75
2	渡辺 キャリ	長野 CANNONDALE	7:08.77
3	水庫 士実	長野 MOM&pop	7:10.65
4	増田 まみ	千葉 X-TRAIL	7:15.72

5	福本 弘佳	兵庫 輪娛Dト	7:31.11
6	久家 麻妃	岐阜 DD BIKES	7:41.13
7	佐藤由布子	神奈川 SY-Nak	7:42.86
8	岡本 典子	東京	7:44.45
9	藤中 治子	京都 KUWAHARA	7:47.49
10	杉山 美佐	静岡 DD BIKES	7:50.62

XC男子Iト (31.5km)

1	竹谷 賢二	千葉 FORD	1:44:33.19
2	白石 真悟	大阪 大阪大学	1:45:16.63
3	山口 孝徳	長野 MX/MONG	1:46:34.30
4	柴田 富夫	長野 JAMIS	1:47:55.67
5	野口 忍	京都 JAPAN	1:48:32.42
6	色川 浩樹	茨城 GIANT J.	1:49:17.86
7	RICHARD KNAPP	長野 MX/STO	1:49:55.54
8	堂城 賢	長野 GARY FISHER	1:51:01.80
9	鈴木 良則	神奈川 XARU	1:51:54.46
10	柴田健太郎	福岡 Q-MAX	1:52:04.17

XC女子Iト (18.0km)

1	南部 博子	長野 TREK VW	1:09:57.96
2	中込由香里	長野 SY-Nak	1:12:09.30
3	高橋いづみ	東京 SY-Nak	1:15:06.43
4	真下 正美	神奈川 SY-Nak	1:15:09.63
5	小林可奈子	長野 A&F	1:16:45.22
6	深井 薫	大阪 FUN RIDE	1:18:01.77
7	酒井 真清	大阪 Be-One	1:18:27.60
8	田崎 綾	千葉	1:20:12.83
9	中口 裕代	長野 Team846	1:21:36.94
10	田中 裕子	長野 SY-Nak	1:23:41.54

第36回東日本実業団サイクルロードレース
(6/1 日本CSC)

BR-1 (90km)

1	Nevdach Pavel	OBREIヲト	2:37:55
---	---------------	---------	---------



2	Kairat Baigudinov	OBREIヲト	2:39:54
3	水谷 壮宏	ブリヂストン・アンカー	2:40:08
4	真鍋 和幸	ミヤカスル・ル・シグ	2:40:08
5	岡崎 和也	日本舗道レーシング	2:40:22
6	別府 匠	日本舗道レーシング	2:40:34
7	西谷 雅史	TEAM・GATTA	2:43:43
8	品川 真寛	ミヤカスル・ル・シグ	2:46:48
9	綾部 勇成	日本舗道レーシング	2:46:48
10	渋谷 淳一	ブリヂストン・アンカー	2:46:48

BR-2 (50km)

1	田中 聡	TEAM YUKIRIN	1:33:09
2	原田 主将	CA GOODWHEEL	1:33:14
3	深尾 和孝	スミタハ・初ハ・ル・シグ	1:33:53
4	大鹿 真治	BLANCHE	1:33:59
5	藤井 秀昌	スミタハ・初ハ・ル・シグ	1:34:00
6	秦野 実	日本アイランド あずみの	1:34:01
7	郷右近智久	なるしまフルト	1:34:08
8	小川 義治	チーム YOU CAN	1:34:18
9	鍋谷 治	イキップ カバニョロ	1:34:18
10	金村 健	シロクワ オオ	1:34:19

BR-3 (40km)

1	鈴木 謙一	MATTO VELOCE	1:12:03
2	林 裕也	チーム フィロ	1:12:14
3	町田 広	セルノ&タマ R.	1:12:15
4	菱山 毅	Team T-serv.	1:12:16
5	二戸 康寛	なるしまフルト	1:12:17
6	沼田 信也	OBREIヲト	1:12:18
7	堀川 大地	MATTO VELOCE	1:12:53
8	浅野 英明	スミタハ・初ハ・ル・シグ	1:12:56
9	飯野 嘉則	スミタハ・初ハ・ル・シグ	1:13:00
10	金井 慎次	SPADE・ACE	1:13:34

BM-2 (40km)

1	小久保俊介	Vitesse-イカ	1:13:49
2	浜頭 恭	TEAM YUKIRIN	1:14:08
3	磯部 雅治	SPADE・ACE	1:14:11
4	齋藤 道明	OBREIヲト	1:14:14
5	関谷 晃一	TEAM YUKIRIN	1:14:21
6	倉田 真秀	日野自動車レーシング	1:14:30
7	齋藤 慶尚	TEAM YUKIRIN	1:14:32
8	野田 洋一	スワコレーシング チーム	1:14:50
9	栗田 徳久	スワコレーシング チーム	1:14:50
10	小泉 操	たかだフルト R.	1:14:50

BM-3 (30km)

1	小坂 正則	スワコレーシング チーム	56:01
2	菅原 勝良	ミサカレーシング チーム	56:07
3	佐宗 広明	チームスキャップ	56:07
4	斉藤 寛	スワコレーシング チーム	56:07
5	入井 直樹	チーム フィロ	56:07
6	奈良 浩	フルボーンズ	56:07
7	大野二美雄	VC-SPLENDOR	56:07
8	滝山 信行	フルボーンズ	56:10
9	黒川 隆之	フィッツ	56:25
10	綾野 真	フルボーンズ	56:25

女子 (30km)

1	杉村 久美	スミタハ・初 P.	1:02:25.05
2	中村 珠藻	Blanche	1:02:25.40
3	村中恵美子	千葉医療福祉	1:02:26.72
4	西 加南子	スミタハ・初 P.	1:05:03.50
5	林 佐知子	Vitesse-イカ	1:05:27.97
6	志村みち子	あずみの	1:07:32.79
7	塩原 桂子	フルボーンズ	1:08:13.06
8	伊与田尚加	ミノイレレーシング チーム	1:08:59.00
9	中山 朋子	スミタハ・初 P.	1:09:45.57
10	岡野 尚美	SPADE・ACE	1:10:21.45

第36回西日本実業団サイクルロードレース
(6/2 広島・中央森林公園)

BR-1 (110.7km)

1	鈴木 真理	スワコレーシング	3:01:36.976
2	新保 光起	愛三工業	3:01:38.160
3	狩野 智也	スワコレーシング	3:01:41.445
4	鈴木 新史	愛三工業	3:03:40.773
5	今西 尚志	スワコレーシング	3:03:40.774
6	山本 雅道	スワコレーシング	3:03:43.360
7	田中 光輝	愛三工業	3:03:45.514
8	大内 薫	スワコレーシング	3:03:46.088
9	西村 拓也	カガワ FET	3:03:46.629
10	日置 大介	サンルイ	3:03:47.390

女子 (36.9km)

1	福森 智子	カガワ FET	1:06:00.174
2	小野山恵美	イキップ ユーレーシング	1:09:00.715
3	木村 清香	BALBA R.	1:09:08.359
4	小谷 翠	NCFR	1:09:30.691

5	坂田 佳子	TEAM POLPO	1:10:36.280
6	赤澤 佳美	三菱化学物流	1:18:36.029
7	佐々木美恵	BALBA R.	1:18:46.840
8	梶原 加名	VELOCISTA	1:22:49.917
9	三瀬 千春	カガワ FET	1:28:16.727
10	窪堀 名恵	bicinoko.com	1:31:05.998

BR-2 (61.5km)

1	内田 博之	とくしまサイクル	1:40:57.098
2	楠本 正昭	愛三工業	1:41:01.007
3	坂本 恵一	チームアカツ	1:41:01.608
4	宮原 淳	PCサイクルクラブ	1:41:03.427
5	笹井 秀治	フルボーンズ ネットワーク	1:41:03.676
6	米倉 健二	LEGNO Sport	1:41:03.821
7	中島 剛	BREZZAカバニョ	1:41:03.947
8	藤岡 崇志	CCM-ALL WAYS	1:41:05.112
9	加藤 康則	Testach-R.	1:41:05.199
10	鳴谷 浩一	CCM-ALL WAYS	1:41:05.899

BR-3 (36.9km)

1	原田 貴文	bicinoko.com	58:17.693
2	岡本 健	チーム フィロ	58:40.004
3	三宅 宣資	カガワ FET	58:40.523
4	荻田 浩行	bicinoko.com	58:40.799
5	石堂 大悟	チーム サイクル ヴァス	58:40.980
6	東 昌幸	BALBA R.	58:41.368
7	酒井 紀章	BALBA R.	58:41.467
8	大矢 繁	チーム フィロ	58:42.251
9	松本 貞行	FUKADAまじりんぐ	58:46.478
10	中村 元	FUKADAまじりんぐ	58:47.307

BM-2 (49.2km)

1	続木 健二	カガワ FET	1:20:21.015
2	浜田 繁信	MIZUHOインフォ	1:20:24.329
3	池田 康広	チーム岡山	1:20:56.089
4	松井 久	スワコレーシング	1:21:39.505
5	末本 大克	MIZUHOインフォ	1:22:13.000
6	伊藤 嘉浩	LEGNO Sport	1:22:34.367
7	今井 靖治	ZippyくずはR	1:22:37.558
8	中津 陽	カガワ FET	1:22:37.825
9	正木 颯	チーム サイクル ヴァス	1:22:38.994
10	岩根 正晃	カガワ FET	1:22:42.866

BM-3 (36.9km)

1	宗政 昭弘	チーム フィロ	1:00:42.372
2	星野 健一	LEGNO Sport	1:00:42.374
3	川瀬 智裕	NCFR	1:00:42.703
4	小牧 悟	BALBA R.	1:00:43.266
5	赤堀 紀彦	NCFR	1:00:43.501
6	高木 雅之	Verdad	1:00:43.915
7	安東 秀倫	チーム岡山	1:00:45.422
8	國延 和弘	チーム ケース	1:00:45.590
9	松井 直樹	チーム アカツ	1:00:45.924
10	白石 裕二	チーム サイクル ヴァス	1:00:46.056

2002年全日本学生選手権個人ロードレース
(6/9 静岡・日本CSC)

男子個人ロードレース (100km)

1	園谷 崇	福島 日本大学	3:07:13
2	岩本竜太郎	広島 京都産業大	3:07:45
3	盛 一大	茨城 日本大学	3:08:56
4	小林 誠	滋賀 京都産業大	3:09:01
5	西谷 泰治	広島 日本大学	3:09:32
6	小野寺孝太	岩手 日本大学	3:09:41
7	上田 誠	奈良 立命館大学	3:09:48
8	矢澤 真幸	京都 京都大学	3:10:00
9	鈴木 謙一	静岡 法政大学	3:10:10
10	渡邊 哲平	京都 京都大学	3:10:52

女子個人ロードレース(40km)

- 1 中村 珠藻 奈良 順天堂大学 1:25:00
- 2 許斐真由子 鹿児島 鹿屋体育大 1:25:20
- 3 西 加南子 千葉 スミタバ' 和P. 1:27:42
- 4 村中恵美子 東京 千葉医療福祉学校
- 5 木村 春恵 青森 八戸大学
- 6 坂井田理沙 青森 八戸大学
- 7 前川 康子 奈良 明治大学
- 8 細矢由美子
- 9 小高セツコ 埼玉
- 10 益田 聖子 福島 順天堂大学

第6回全日本実業団個人タイムトライアル選手権
(6/9 長野・樽池高原)

決勝トーナメント結果

- 1 狩野 智也 シムルレーシング 1:24:41.2
- 2 Kairat Baigudnov TeamOBREA(カザフ) 1:24:53.2
- 3 和野内公次 カガ' ヲFET 1:28:37.6
- 4 真鍋 和幸 ミヤ' スルレーシング 1:28:48.0
- 5 新保 光起 愛三工業レーシング 1:28:57.4
- 6 別府 匠 日本舗道レーシング 1:29:05.7
- 7 西村 拓也 カガ' ヲFET 1:29:37.2
- 8 村山 利男 Vitesse-イカ 1:30:11.5
- 9 鈴木 雷太 Testach-Racing 1:30:32.8
- 10 今西 尚志 シムルレーシング 1:31:09.6

第33回東日本実業団トラック大会
(6/15-16 西武園競輪場)

男子スプリント

- 1 青木 亮太 ハーブ・レーシングクラブ
- 2 湯原 正行 チームサイクルマインド
- 3 屋良 朝春 チムチプロ
- 4 鈴木 英介 マット' 和チ ARIAKE
- 5 安藤 武史 デュ' 和
- 6 朝倉 佳弘 ハ' イレックス' 90

男子1kmタイムトライアル

- 1 黒木 祐介 マット' 和チ ARIAKE 1:08.674



- 2 阿部 秀樹 ハーブ・レーシングクラブ 1:09.024
- 3 櫻井 丈 マット' 和チ ARIAKE 1:09.048
- 4 佐野 伸弥 マット' 和チ ARIAKE 1:09.782
- 5 中村 有志 マット' 和チ ARIAKE 1:09.854
- 6 屋良 朝春 チムチプロ 1:10.028

男子4km個人追抜競走

- 1 黒木 祐介 マット' 和チ ARIAKE 追抜勝
- 2 大塚 英伸 マット' 和チ ARIAKE OVT
- 3 高橋 栄光 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ 追抜勝
- 4 飯島 誠 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ OVT
- 5 別府 史之 プ' リジ' スト' アンカ' 4:59.108
- 6 吉井 功治 JOA(スギ' ルレーシング' 5:00.734

男子ケリソ

- 1 櫻井 丈 マット' 和チ ARIAKE 11.72
- 2 河合 康晴 ミソノレーシング' チム
- 3 石丸 健次 チムBMLレーシング' ZUNOW
- 4 丹沢 秀樹 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ
- 5 湯原 正行 チムサイクルマインド
- 6 水澤 耕一 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ



男子エリミネーション

- 1 浅野 英明 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ
- 2 後閑 俊秀 ハーブ・レーシングクラブ
- 3 福留 啓介 マット' 和チ ARIAKE
- 4 深田 直樹 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ
- 5 太刀川一成 日本ジャクリ
- 6 岡部 武 ハーブ・レーシングクラブ

男子ホ' イントレース(30km)

- 1 飯島 誠 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ 57p
- 2 吉井 功治 JOA(スギ' ルレーシング' 39p



- 3 別府 史之 チム' リジ' スト' アンカ' 32p
- 4 菅原 勝良 ミサカレーシング' チム 24p
- 5 片山 智晴 マット' 和チ ARIAKE 21p
- 6 大塚 英伸 マット' 和チ ARIAKE 18p

男子4km団体追抜競走

- 1 マット' 和チ ARIAKE 岡田・黒木・明珍・柴田 4:30.742
- 2 ハーブ・レーシング' 工藤・松本・阿部・岡部 4:42.712
- 3 ミサカレーシング' 蓮見・有賀・工藤・菅原 4:50.168

男子チームスプリント

- 1 スミタバ' 和 A 高橋・水澤・飯野 1:20.010
- 2 マット' 和チ ARIAKE 丸山・中村・鈴木 1:20.469
- 3 ハ' イレックス' 90 朝倉・木村・沢口 1:20.331
- 4 栃木クラブ' 矢野・中川・小田倉 1:21.169
- 5 Rikkio C.Club 駒井・阿部・菅野 1:23.263
- 6 ミサカレーシング' A 有賀・工藤・菅原 1:23.390

女子500mタイムトライアル

- 1 大管 小百合 三協精機 37.313



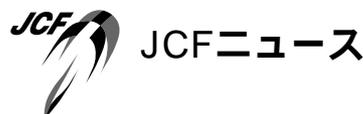
- 2 大管 淳子 三協精機 39.966
- 3 濱田 真子 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ 41.985
- 4 西 加南子 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ 42.206
- 5 中山 朋子 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ 42.278
- 6 中尾 訓子 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ 45.113

女子3km個人追抜競走

- 1 杉村 久美 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ 4:02.482
- 2 大塚 歩 A+00 4:05.007
- 3 濱田 真子 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ 4:28.264
- 4 中山 朋子 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ 4:43.751
- 5 中尾 訓子 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ 4:48.122

女子ホ' イントレース(10km)

- 1 大塚 歩 A+00 43p
- 2 杉村 久美 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ 34p
- 3 松永 舞美 マット' 和チ ARIAKE 21p
- 4 西 加南子 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ 17p
- 5 中山 朋子 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ
- 6 濱田 真子 スミタバ' 和P' -ルイス' ミ



ヘルメットの新規公認

公認番号	公認日付	公認申請社	製造社	形式名	公認条件
33-194	2002/5/8(新規)	インター マックス	MET SPA	V-エレメント(V element)	バイザーはマウンテンバイク・クロスカントリー シクロクロスに おいてのみ使用が認められている旨の注意書を同梱すること。
34-195	2002/6/3(新規)	オージーケー販売(株)	オージーケー技研(株)	アレクレス	
26-154	2002/6/13(更新)	三井物産ロシニョール(株)	BRIKO	PAMPERO(TWINNER)	
44-192	2002/6/14(更新)	ルディー・プロジェクトジャパン(有)	ルディー・プロジェクト	フルヤ(FURYA)	

インター マックス	400-0074	山梨県甲府市千塚5-10-9	055-252-7333
オージーケー販売(株)	577-0037	大阪府東大阪市御厨西ノ町2-1-3	06-6783-5906
三井物産ロシニョール(株)	102-0075	東京都千代田区三番町28秀和三番町ビル7F	03-5275-8421
ルディー プロジェクト ジャパン(有)	630-8452	奈良県奈良市北之庄西町2-8-15	0742-64-7001

ツール・ド・ラビティピ代表選手団	ツール・ド・チャイナ代表選手団	ツアー・オブ・チンハイ湖代表選手団
大会期間 平成14年7月16日～21日	大会期間 平成14年7月27日～30日	大会期間 平成14年7月27日～8月5日
派遣期間 平成14年7月13日～24日	派遣期間 平成14年7月25日～31日	派遣期間 平成14年7月18日～8月6日
開催場所 カナダ・ラビティピ周辺	開催場所 中国・北京市周辺各地	開催場所 中国・チンハイ湖周辺
選手 池田丈志(奈良) 小野哲裕(神奈川) 天沼雅貴(北海道) 辻 善光(京都) 柿本勇介(大分) 谷垣雄基(京都)	選手 飯島 誠(JPCA) 岡崎和也(JPCA) 大塚 潤(静岡) 高島 豪(埼玉) 岩本竜太郎(広島)	選手 新保光起(JPCA) 田中光輝(愛知) 行成秀人(岡山) 真鍋和幸(JPCA) 広瀬 敏(石川)
監督 塚崎邦継(大分)	監督 中原曙哉(連盟強化委員)	監督 高橋松吉(連盟強化コーチ)
コーチ 三好泰敏(奈良)	コーチ 鉄沢孝一(新家工業)	コーチ 森 昭夫
総務(連盟選手強化部)	マッサー 村川満紀子	マッサー 宮島正典

連盟の動き(5月中旬～6月中旬)

- 5月14日 経済産業省車両課ヒヤリング
- 22日 日本スポーツマスターズ委員会/日本体育協会 於:岸記念体育会館
平成13年度公認会計士会計監査(～24日)
- 27日 トラックワールドカップ第3戦日本選手団出発(帰国 6/5) 於:ロシア・モスクワ
- 29日 平成14年度第1回総務委員会
- 30日 ジャパンカップ推進委員会
- 6月4日 全日本MTB選手権大会実行委員会
公認スポーツ指導者制度改訂個別ヒアリング
- 5日 トラック強化合宿(～8日) 於:日本CSC
職員会議
- 6日 平成13年度監事監査
- 7日 平成14年度第2回常務理事会兼選手強化本部会
- 8日 平成14年度第1回競技運営委員会
- 13日 平成14年度第1回普及委員会
- 16日 第10回ツール・ド・とうほく実行委員会 於:仙台市

日本競輪学校入学試験 制度一部改正について

〈 技能試験における
ギヤ比制限の導入 〉

第89回入学試験
50×15(3.33)以内

第90回以降入学試験
49×15(3.27)以内

編集後記

ワールドカップ・サッカーの報道が異常に加熱している。大会期間中だけのことだから、テレビや新聞もそこだけ見ないようにすればいいと思っていたが、あまりのことに我慢の限界を超えた。世界的なイベントなのだから報道すること自体に文句はない。問題は報道の姿勢だ。素晴らしいプレーや交流も随所にあったのだろうが、何とかいう有名な英国人が得点したシーンで、自分のユニフォームを引っ張って自らの胸の番号を誇示している所や、得点した日本選手が俺だ！オレだ！と、自分を指差す様が繰り返され、嫌でも目に入ってしまった。所詮、よそさまのことであるが、サッカーって、そんな競技だったのか？ チーム全員でボールを繋ぎ、アシストがあつて初めて得点できるモノではなかったのか？ 歓喜のみとは思えない、自分だけ売り込むイヤな姿に写り、それをマスコミが助長しているように見えてならなかった。勝つことも大事だが、チームメイトを思いやり、競う相手を尊重する心を失ってはスポーツの未来はない。

主催者の意図は窺う術もないが、これが純粋なスポーツ行事としてのワールドカップ本来の姿なのだろうか。日本経済復活の効果があるのかどうかは知らないが、余りにも商業主義的な、これを機会にひと儲け的な不愉快な話も聞こえて来過ぎた。そして、お祭り気分が熱くなり必要以上に舞上がった一部のあの日本人達、髪を染め、頬に着色した得体の知れぬ集団はこの後、どこに行くのだろうか。政や官との関わりもまた然り。無念な思いをしたモスクワ・オリンピックの時の教訓をもうどこかに置き忘れてしまったのか。

日本チームを率いる日本語を話さぬ外国人監督に国民栄誉賞をという話も漏れ聞こえてきた。冗談ではない。世界選手権で10連覇を達成した日本自転車競技界の先人の時のことを考えてからにしてほしい。一段落したら、改めてスポーツって何だろうと考えてみたい。

(村田 統司)

シクリスムエコー No.87 2002年6月号



発行/財団法人 日本自転車競技連盟

発行人/岩 楯 昭 一

編集人/村 田 統 司

編集事務局/財団法人 日本自転車競技連盟 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508

URL <http://www.jcf.or.jp/>